

県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

[illegible]

県立総合技術研究所林業技術センター解体撤去工事（１期）特記仕様書			一 般 共 通 事 項	6. 環境への配慮	一 般 共 通 事 項	30. 塗装	下記の部分を除き、原則として塗装（標準仕様書第2編3. 2による）を行う。 重鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分。金属電線管、鋼製架台及び支持金物類、主・各階機械室内等及び電気室内の重鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管、カラー重鉛鉄板面、重鉛めっき以外のめっき仕上げ面、樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-重鉛鉄板、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面、埋設されるもの。 （ただし、防食塗装部分を除く） 塗装を施さない部分・箇所 ※ 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場 ただし、残りネジ部及びパイプレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場（※ A、B、C、D種 ・ E種 ・ F種 ・ G種） ・ 外部足場（※ D、E種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ F種） 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は全て受注者の負担とする。 本工事で設置する。（規模及び仕上げの程度は現場説明書による） 構内につくることが ※ できない ・ 構外に撤出し適切に処理（現場説明書） 1）埋戻し土は ※ 根切り土の中の良質土 （コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類 2）建設発生土は ※ 構内敷きならし ・ 構内の指示ある場所に堆積 ・ 構外に撤出し適切に処理（現場説明書） コンクリートの設計基準強度は ※ 18N/mm2以上 ・ 図示しない。 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 1）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、 地震係数（・ 1. 0 ※ 0. 9 ・ 0. 8）と、 次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 ・ 特定の施設 ・ 一般の施設 設 置 場 所 機 器 種 別 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 上 層 階 防振設置機器 2. 0 2. 0 2. 0 2. 0 屋上及び塔屋 水 槽 類 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0 機 器 類 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0 中 間 階 防振設置機器 1. 5 1. 5 1. 5 1. 0 水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6 地 階・1 階 防振設置機器 1. 0 0. 6 0. 6 0. 4 水 槽 類 1. 0 1. 0 1. 0 0. 6 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3、13階建以上の場合は上層4階とする。 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 重要機器は次のものを示す。 ・ 給水機器（ ） ・ 排水機器（ ） ・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災機器 ・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器 2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。 1）EM電線類で規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1. 5. 1表4. 1. 1による。 2）電線の色別は、原則として電気設備工事の工事仕様書による。 ・ 施工に先立ち、改修工事関連部分（施工部位により既存性能を損なうおそれのある部分）の事前確認を行い監督職員に報告書を提出する。 ① 既存設備システムの事前調査を行い監督職員に報告書を提出する。調査を行う前に監督職員に調査計画書を提出する。 改修工事の対象となる既存設備システム ② 排水放流先 ・ 中央監視室 撤去する配管、ダクト（付属品含む）の保温材は、配管・ダクト等より分離施工。 施工後確認試験 試験方法 引張試験機による引張り試験 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器（・ 配電盤 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置 ・ 変圧器 ・ ） 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い、監督職員に報告する。原則、探査方法は走査式埋設物調査（電磁誘導法または電磁波レーダ法）とする。 放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。 図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。 電気設備工事、建築工事等との合併工事の場合は工種区分とする。 （ ）書きの室名は天井無しを示し、その他は天井ありを示す。 44. 天井仕上区分 49. 完成時の提出書類等 49. 電子納品 47. 工事中情報共有システム 48. 工事実績情報の登録 49. 施工計画書 50. 履行報告 51. 建設廃棄物の処理 52. 優先順位 53. 官公署その他への手続き等 54. 別契約の関係工事との協調 55. 調査への対応 56. 工事現場の表示 57. 交通誘導員 58. 説明板等 59. 工事中の補償 60. 工事後の補償 61. 完成引渡しまでの管理 62. 快速トイレモデル工事 （1）本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 （2）本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html （3）監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 （4）受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならぬ。 標準仕様書第1編1. 1. 4に基づいて適切に行うこと。 工事の着手に先立ち、現場の体制・組織、仮設計画、安全衛生管理、緊急時の連絡、災害予防その他の現場運営に必要な計画を定めた「総合施工計画書」を作成し提出する。 また各別別の工事の施工にあたっては「工種別施工計画書」を作成する。 約款第11条に規定する工事履行報告書は、當機誤で示す様式「期間別工事工程報告書」で、工程写真、状況写真を添付して月2回提出する。 （1）本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市等（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分） （2）本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（1）に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平田の受入費用）の合計が最も経済的なものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 （3）本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物物理立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事で、広島県産業廃棄物物理立税相当額を見込んでいる。設計図書の優先順位は次の順序とする。 ①技術的説明事項（追加説明、質問回答を含む） ②特記仕様書 ③設計図面 ④標準仕様書・標準図 官公署その他への手続きは、受注者が滞滞なく行い、これに要する費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく「官公署その他関係機関の検査において、その検査に必要な資機材及び労務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。 建築、電気その他別契約の関係工事について、工程及び、取合部分の施工に關し、常に緊密に連絡し、工事の円滑な進捗を図るものとする。 工事中及び竣工後、下記に示す調査を行うため発注者より連絡があれば対応すること ①公共事業労務費調査…工事中に実施 （調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等） ②契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内 現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※ 工事名等の表示板（900mm×600mm）※ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm） 作業期間、交通誘導員を（人/日）配置すること。 ・ 説明書（監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書等を作成する。） ・ 説明板（監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。） 地上物件、地中埋設物等で本工事に起因して損傷した場合は、速やかに補修し、完全に復元するものとする。 工事完成引渡後、施工または機器、材料の不備による故障は、約款第41条（契約不適合）により1年間受注者の負担で完全に補修するものとする。 工事完了後も予め監督職員の指示した日時までは受注者で管理し、各種公課に対する料金及び各種の被害（火災、盗難、破壊等）は一切受注者の負担とする。 本工事は快速トイレモデル工事（・発注者指定型 ・受注者希望型）であり、「快速トイレモデル工事試行要領（令和4年6月1日一部改正）」に基づき実施するものとする。 快速トイレチェックシートの様式は、「広島県の調達情報」の「様式集＞建設工事関係」その他の契約関係の様式に掲載している。 また、完成検査までに提出するアンケートは、「広島県の調達情報」の「入札・契約制度」入札・契約制度関係要領」に掲載している。
I. 工 事 概 要 1. 工 事 場 所 三次市十日市町高平10168-1 2. 建 物 概 要 3. 工 事 種 目（○印の付いたものを適用する） 4. 指 定 部 分 ※ 無し ・ 有り（工期 令和 年 月 日） 対象部分： 5. 設 備 概 要（改修の場合は既存の概要を示す。） II. 工 事 仕 様 1. 共 通 仕 様 2. 特 記 仕 様 3. 特 記 仕 様 4. 特 記 仕 様 5. 特 記 仕 様 6. 特 記 仕 様 7. 特 記 仕 様 8. 特 記 仕 様 9. 特 記 仕 様 10. 特 記 仕 様 11. 特 記 仕 様 12. 特 記 仕 様 13. 特 記 仕 様 14. 特 記 仕 様 15. 特 記 仕 様 16. 特 記 仕 様 17. 特 記 仕 様 18. 特 記 仕 様 19. 特 記 仕 様 20. 特 記 仕 様 21. 特 記 仕 様 22. 特 記 仕 様 23. 特 記 仕 様 24. 特 記 仕 様 25. 特 記 仕 様 26. 特 記 仕 様 27. 特 記 仕 様 28. 特 記 仕 様 29. 特 記 仕 様 30. 特 記 仕 様 31. 特 記 仕 様 32. 特 記 仕 様 33. 特 記 仕 様 34. 特 記 仕 様 35. 特 記 仕 様 36. 特 記 仕 様 37. 特 記 仕 様 38. 特 記 仕 様 39. 特 記 仕 様 40. 特 記 仕 様 41. 特 記 仕 様 42. 特 記 仕 様 43. 特 記 仕 様 44. 特 記 仕 様 45. 特 記 仕 様 46. 特 記 仕 様 47. 特 記 仕 様 48. 特 記 仕 様 49. 特 記 仕 様 50. 特 記 仕 様 51. 特 記 仕 様 52. 特 記 仕 様 53. 特 記 仕 様 54. 特 記 仕 様 55. 特 記 仕 様 56. 特 記 仕 様 57. 特 記 仕 様 58. 特 記 仕 様 59. 特 記 仕 様 60. 特 記 仕 様 61. 特 記 仕 様 62. 特 記 仕 様 63. 特 記 仕 様 64. 特 記 仕 様 65. 特 記 仕 様 66. 特 記 仕 様 67. 特 記 仕 様 68. 特 記 仕 様 69. 特 記 仕 様 70. 特 記 仕 様 71. 特 記 仕 様 72. 特 記 仕 様 73. 特 記 仕 様 74. 特 記 仕 様 75. 特 記 仕 様 76. 特 記 仕 様 77. 特 記 仕 様 78. 特 記 仕 様 79. 特 記 仕 様 80. 特 記 仕 様 81. 特 記 仕 様 82. 特 記 仕 様 83. 特 記 仕 様 84. 特 記 仕 様 85. 特 記 仕 様 86. 特 記 仕 様 87. 特 記 仕 様 88. 特 記 仕 様 89. 特 記 仕 様 90. 特 記 仕 様 91. 特 記 仕 様 92. 特 記 仕 様 93. 特 記 仕 様 94. 特 記 仕 様 95. 特 記 仕 様 96. 特 記 仕 様 97. 特 記 仕 様 98. 特 記 仕 様 99. 特 記 仕 様 100. 特 記 仕 様 101. 特 記 仕 様 102. 特 記 仕 様 103. 特 記 仕 様 104. 特 記 仕 様 105. 特 記 仕 様 106. 特 記 仕 様 107. 特 記 仕 様 108. 特 記 仕 様 109. 特 記 仕 様 110. 特 記 仕 様 111. 特 記 仕 様 112. 特 記 仕 様 113. 特 記 仕 様 114. 特 記 仕 様 115. 特 記 仕 様 116. 特 記 仕 様 117. 特 記 仕 様 118. 特 記 仕 様 119. 特 記 仕 様 120. 特 記 仕 様 121. 特 記 仕 様 122. 特 記 仕 様 123. 特 記 仕 様 124. 特 記 仕 様 125. 特 記 仕 様 126. 特 記 仕 様 127. 特 記 仕 様 128. 特 記 仕 様 129. 特 記 仕 様 130. 特 記 仕 様 131. 特 記 仕 様 132. 特 記 仕 様 133. 特 記 仕 様 134. 特 記 仕 様 135. 特 記 仕 様 136. 特 記 仕 様 137. 特 記 仕 様 138. 特 記 仕 様 139. 特 記 仕 様 140. 特 記 仕 様 141. 特 記 仕 様 142. 特 記 仕 様 143. 特 記 仕 様 144. 特 記 仕 様 145. 特 記 仕 様 146. 特 記 仕 様 147. 特 記 仕 様 148. 特 記 仕 様 149. 特 記 仕 様 150. 特 記 仕 様 151. 特 記 仕 様 152. 特 記 仕 様 153. 特 記 仕 様 154. 特 記 仕 様 155. 特 記 仕 様 156. 特 記 仕 様 157. 特 記 仕 様 158. 特 記 仕 様 159. 特 記 仕 様 160. 特 記 仕 様 161. 特 記 仕 様 162. 特 記 仕 様 163. 特 記 仕 様 164. 特 記 仕 様 165. 特 記 仕 様 166. 特 記 仕 様 167. 特 記 仕 様 168. 特 記 仕 様 169. 特 記 仕 様 170. 特 記 仕 様 171. 特 記 仕 様 172. 特 記 仕 様 173. 特 記 仕 様 174. 特 記 仕 様 175. 特 記 仕 様 176. 特 記 仕 様 177. 特 記 仕 様 178. 特 記 仕 様 179. 特 記 仕 様 180. 特 記 仕 様 181. 特 記 仕 様 182. 特 記 仕 様 183. 特 記 仕 様 184. 特 記 仕 様 185. 特 記 仕 様 186. 特 記 仕 様 187. 特 記 仕 様 188. 特 記 仕 様 189. 特 記 仕 様 190. 特 記 仕 様 191. 特 記 仕 様 192. 特 記 仕 様 193. 特 記 仕 様 194. 特 記 仕 様 195. 特 記 仕 様 196. 特 記 仕 様 197. 特 記 仕 様 198. 特 記 仕 様 199. 特 記 仕 様 200. 特 記 仕 様 201. 特 記 仕 様 202. 特 記 仕 様 203. 特 記 仕 様 204. 特 記 仕 様 205. 特 記 仕 様 206. 特 記 仕 様 207. 特 記 仕 様 208. 特 記 仕 様 209. 特 記 仕 様 210. 特 記 仕 様 211. 特 記 仕 様 212. 特 記 仕 様 213. 特 記 仕 様 214. 特 記 仕 様 215. 特 記 仕 様 216. 特 記 仕 様 217. 特 記 仕 様 218. 特 記 仕 様 219. 特 記 仕 様 220. 特 記 仕 様 221. 特 記 仕 様 222. 特 記 仕 様 223. 特 記 仕 様 224. 特 記 仕 様 225. 特 記 仕 様 226. 特 記 仕 様 227. 特 記 仕 様 228. 特 記 仕 様 229. 特 記 仕 様 230. 特 記 仕 様 231. 特 記 仕 様 232. 特 記 仕 様 233. 特 記 仕 様 234. 特 記 仕 様 235. 特 記 仕 様 236. 特 記 仕 様 237. 特 記 仕 様 238. 特 記 仕 様 239. 特 記 仕 様 240. 特 記 仕 様 241. 特 記 仕 様 242. 特 記 仕 様 243. 特 記 仕 様 244. 特 記 仕 様 245. 特 記 仕 様 246. 特 記 仕 様 247. 特 記 仕 様 248. 特 記 仕 様 249. 特 記 仕 様 250. 特 記 仕 様 251. 特 記 仕 様 252. 特 記 仕 様 253. 特 記 仕 様 254. 特 記 仕 様 255. 特 記 仕 様 256. 特 記 仕 様 257. 特 記 仕 様 258. 特 記 仕 様 259. 特 記 仕 様 260. 特 記 仕 様 261. 特 記 仕 様 262. 特 記 仕 様 263. 特 記 仕 様 264. 特 記 仕 様 265. 特 記 仕 様 266. 特 記 仕 様 267. 特 記 仕 様 268. 特 記 仕 様 269. 特 記 仕 様 270. 特 記 仕 様 271. 特 記 仕 様 272. 特 記 仕 様 273. 特 記 仕 様 274. 特 記 仕 様 275. 特 記 仕 様 276. 特 記 仕 様 277. 特 記 仕 様 278. 特 記 仕 様 279. 特 記 仕 様 280. 特 記 仕 様 281. 特 記 仕 様 282. 特 記 仕 様 283. 特 記 仕 様 284. 特 記 仕 様 285. 特 記 仕 様 286. 特 記 仕 様 287. 特 記 仕 様 288. 特 記 仕 様 289. 特 記 仕 様 290. 特 記 仕 様 291. 特 記 仕 様 292. 特 記 仕 様 293. 特 記 仕 様 294. 特 記 仕 様 295. 特 記 仕 様 296. 特 記 仕 様 297. 特 記 仕 様 298. 特 記 仕 様 299. 特 記 仕 様 300. 特 記 仕 様 301. 特 記 仕 様 302. 特 記 仕 様 303. 特 記 仕 様 304. 特 記 仕 様 305. 特 記 仕 様 306. 特 記 仕 様 307. 特 記 仕 様 308. 特 記 仕 様 309. 特 記 仕 様 310. 特 記 仕 様 311. 特 記 仕 様 312. 特 記 仕 様 313. 特 記 仕 様 314. 特 記 仕 様 315. 特 記 仕 様 316. 特 記 仕 様 317. 特 記 仕 様 318. 特 記 仕 様 319. 特 記 仕 様 320. 特 記 仕 様 321. 特 記 仕 様 322. 特 記 仕 様 323. 特 記 仕 様 324. 特 記 仕 様 325. 特 記 仕 様 326. 特 記 仕 様 327. 特 記 仕 様 328. 特 記 仕 様 329. 特 記 仕 様 330. 特 記 仕 様 331. 特 記 仕 様 332. 特 記 仕 様 333. 特 記 仕 様 334. 特 記 仕 様 335. 特 記 仕 様 336. 特 記 仕 様 337. 特 記 仕 様 338. 特 記 仕 様 339. 特 記 仕 様 340. 特 記 仕 様 341. 特 記 仕 様 342. 特 記 仕 様 343. 特 記 仕 様 344. 特 記 仕 様 345. 特 記 仕 様 346. 特 記 仕 様 347. 特 記 仕 様 348. 特 記 仕 様 349. 特 記 仕 様 350. 特 記 仕 様 351. 特 記 仕 様 352. 特 記 仕 様 353. 特 記 仕 様 354. 特 記 仕 様 355. 特 記 仕 様 356. 特 記 仕 様 357. 特 記 仕 様 358. 特 記 仕 様 359. 特 記 仕 様 360. 特 記 仕 様 361. 特 記 仕 様 362. 特 記 仕 様 363. 特 記 仕 様 364. 特 記 仕 様 365. 特 記 仕 様 366. 特 記 仕 様 367. 特 記 仕 様 368. 特 記 仕 様 369. 特 記 仕 様 370. 特 記 仕 様 371. 特 記 仕 様 372. 特 記 仕 様 373. 特 記 仕 様 374. 特 記 仕 様 375. 特 記 仕 様 376. 特 記 仕 様 377. 特 記 仕 様 378. 特 記 仕 様 379. 特 記 仕 様 380. 特 記 仕 様 381. 特 記 仕 様 382. 特 記 仕 様 383. 特 記 仕 様 384. 特 記 仕 様 385. 特 記 仕 様 386. 特 記 仕 様 387. 特 記 仕 様 388. 特 記 仕 様 389. 特 記 仕 様 390. 特 記 仕 様 391. 特 記 仕 様 392. 特 記 仕 様 393. 特 記 仕 様 394. 特 記 仕 様 395. 特 記 仕 様 396. 特 記 仕 様 397. 特 記 仕 様 398. 特 記 仕 様 399. 特 記 仕 様 400. 特 記 仕 様 401. 特 記 仕 様 402. 特 記 仕 様 403. 特 記 仕 様 404. 特 記 仕 様 405. 特 記 仕 様 406. 特 記 仕 様 407. 特 記 仕 様 408. 特 記 仕 様 409. 特 記 仕 様 410. 特 記 仕 様 411. 特 記 仕 様 412. 特 記 仕 様 413. 特 記 仕 様 414. 特 記 仕 様 415. 特 記 仕 様 416. 特 記 仕 様 417. 特 記 仕 様 418. 特 記 仕 様 419. 特 記 仕 様 420. 特 記 仕 様 421. 特 記 仕 様 422. 特 記 仕 様 423. 特 記 仕 様 424. 特 記 仕 様 425. 特 記 仕 様 426. 特 記 仕 様 427. 特 記 仕 様 428. 特 記 仕 様 429. 特 記 仕 様 430. 特 記 仕 様 431. 特 記 仕 様 432. 特 記 仕 様 433. 特 記 仕 様 434. 特 記 仕 様 435. 特 記 仕 様 436. 特 記 仕 様 437. 特 記 仕 様 438. 特 記 仕 様 439. 特 記 仕 様 440. 特 記 仕 様 441. 特 記 仕 様 442. 特 記 仕 様 443. 特 記 仕 様 444. 特 記 仕 様 445. 特 記 仕 様 446. 特 記 仕 様 447. 特 記 仕 様 448. 特 記 仕 様 449. 特 記 仕 様 450. 特 記 仕 様 451. 特 記 仕 様 452. 特 記 仕 様 453. 特 記 仕 様 454. 特 記 仕 様 455. 特 記 仕 様 456. 特 記 仕 様 457. 特 記 仕 様 458. 特 記 仕 様 459. 特 記 仕 様 460. 特 記 仕 様 461. 特 記 仕 様 462. 特 記 仕 様 463. 特 記 仕 様 464. 特 記 仕 様 465. 特 記 仕 様 466. 特 記 仕 様 467. 特 記 仕 様 468. 特 記 仕 様 469. 特 記 仕 様 470. 特 記 仕 様 471. 特 記 仕 様 472. 特 記 仕 様 473. 特 記 仕 様 474. 特 記 仕 様 475. 特 記 仕 様 476. 特 記 仕 様 477. 特 記 仕 様 478. 特 記 仕 様 479. 特 記 仕 様 480. 特 記 仕 様 481. 特 記 仕 様 482. 特 記 仕 様 483. 特 記 仕 様 484. 特 記 仕 様 485. 特 記 仕 様 486. 特 記 仕 様 487. 特 記 仕 様 488. 特 記 仕 様 489. 特 記 仕 様 490. 特 記 仕 様 491. 特 記 仕 様 492. 特 記 仕 様 493. 特 記 仕 様 494. 特 記 仕 様 495. 特 記 仕 様 496. 特 記 仕 様 497. 特 記 仕 様 498. 特 記 仕 様 499. 特 記 仕 様 500. 特 記 仕 様 501. 特 記 仕 様 502. 特 記 仕 様 503. 特 記 仕 様 504. 特 記 仕 様 505. 特 記 仕 様 506. 特 記 仕 様 507. 特 記 仕 様 508. 特 記 仕 様 509. 特 記 仕 様 510. 特 記 仕 様 511. 特 記 仕 様 512. 特 記 仕 様 513. 特 記 仕 様 514. 特 記 仕 様 515. 特 記 仕 様 516. 特 記 仕 様 517. 特 記 仕 様 518. 特 記 仕 様 519. 特 記 仕 様 520. 特 記 仕 様 521. 特 記 仕 様 522. 特 記 仕 様 523. 特 記 仕 様 524. 特 記 仕 様 525. 特 記 仕 様 526. 特 記 仕 様 527. 特 記 仕 様 528. 特 記 仕 様 529. 特 記 仕 様 530. 特 記 仕 様 531. 特 記 仕 様 532. 特 記 仕 様 533. 特 記 仕 様 534. 特 記 仕 様 535. 特 記 仕 様 536. 特 記 仕 様 537. 特 記 仕 様 538. 特 記 仕 様 539. 特 記 仕 様 540. 特 記 仕 様 541. 特 記 仕 様 542. 特 記 仕 様 543. 特 記 仕 様 544. 特 記 仕 様 545. 特 記 仕 様 546. 特 記 仕 様 547. 特 記 仕 様 548. 特 記 仕 様 549. 特 記 仕 様 550. 特 記 仕 様 551. 特 記 仕 様 552. 特 記 仕 様 553. 特 記 仕 様 554. 特 記 仕 様 555. 特 記 仕 様 556. 特 記 仕 様 557. 特 記 仕 様 558. 特 記 仕 様 559. 特 記 仕 様 560. 特 記 仕 様 561. 特 記 仕 様 562. 特 記 仕 様 563. 特 記 仕 様 564. 特 記 仕 様 565. 特 記 仕 様 566. 特 記 仕 様 567. 特 記 仕 様 568. 特 記 仕 様 569. 特 記 仕 様 570. 特 記 仕 様 571. 特 記 仕 様 572. 特 記 仕 様 573. 特 記 仕 様 574. 特 記 仕 様 575. 特 記 仕 様 576. 特 記 仕 様 577. 特 記 仕 様 578. 特 記 仕 様 579. 特 記 仕 様 580. 特 記 仕 様 581. 特 記 仕 様 582. 特 記 仕 様 583. 特 記 仕 様 584. 特 記 仕 様 585. 特 記 仕 様 586. 特 記 仕 様 587. 特 記 仕 様 588. 特 記 仕 様 589. 特 記 仕 様 590. 特 記 仕 様 591. 特 記 仕 様 592. 特 記 仕 様 593. 特 記 仕 様 594. 特 記 仕 様 595. 特 記 仕 様 596. 特 記 仕 様 597. 特 記 仕 様 598. 特 記 仕 様 599. 特 記 仕 様 600. 特 記 仕 様 601. 特 記 仕 様 602. 特 記 仕 様 603. 特 記 仕 様 604. 特 記 仕 様 605. 特 記 仕 様 606. 特 記 仕 様 607. 特 記 仕 様 608. 特 記 仕 様 609. 特 記 仕 様 610. 特 記 仕 様 611. 特 記 仕 様 612. 特 記 仕 様 613. 特 記 仕 様 614. 特 記 仕 様 615. 特 記 仕 様 616. 特 記 仕 様 617. 特 記 仕 様 618. 特 記 仕 様 619. 特 記 仕 様 620. 特 記 仕 様 621. 特 記 仕 様 622. 特 記 仕 様 623. 特 記 仕 様 624. 特 記 仕 様 625. 特 記 仕 様 626. 特 記 仕 様 627. 特 記 仕 様 628. 特 記 仕 様 629. 特 記 仕 様 630. 特 記 仕 様 631. 特 記 仕 様 632. 特 記 仕 様 633. 特 記 仕 様 634. 特 記 仕 様 635. 特 記 仕 様 636. 特 記 仕 様 637. 特 記 仕 様 638. 特 記 仕 様 639. 特 記 仕 様 640. 特 記 仕 様 641. 特 記 仕 様 642. 特 記 仕 様 643. 特 記 仕 様 644. 特 記 仕 様 645. 特 記 仕 様 646. 特 記 仕 様 647. 特 記 仕 様 648. 特 記 仕 様 649. 特 記 仕 様 650. 特 記 仕 様 651. 特 記 仕 様 652. 特 記 仕 様 653. 特 記 仕 様 654. 特 記 仕 様 655. 特 記 仕 様 656. 特 記 仕 様 657. 特 記 仕 様 658. 特 記 仕 様 659. 特 記 仕 様 660. 特 記							

<div> <div> <div>空</div> <div>調</div> <div>和</div> <div>・</div> <div>換</div> <div>気</div> <div>設</div> <div>備</div> </div> </div>	<div> <div>1. 設計用温湿度条件</div> <div>2. 配管材料</div> <div>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</div> <div>3. 弁類</div> <div>4. 空調機用トラップ</div> <div>5. 銅板製煙道</div> <div>6. ばい煙濃度計</div> <div>7. 冷却塔</div> <div>8. ユニット形</div> <div>空気調和機</div> <div>9. ファンコイルユニット</div> <div>10. パッケージ形</div> <div>空気調和機</div> <div>11. マルチパッケージ形</div> <div>空気調和機</div> <div>12. 集中管理リモコン</div> <div>・個別リモコン</div> <div>13. 空気清浄装置</div> <div>14. オイルポンプ</div> <div>15. 開放形膨張タンク</div> <div>16. 地下オイルタンク</div> <div>17. オイルサーピスタック</div> <div>18. ダクト</div> <div>19. チャンバー等</div> <div>20. 吹出口・吸込口の</div> <div>ボックス</div> <div>21. グリス除去装置</div> <div>22. 風量測定口</div> <div>23. 温度計</div> <div>24. 圧力計</div> <div>25. ダンパー</div> <div>26. 定風量・変風量</div> <div>ユニット</div> <div>27. 冷温水管等のエア抜き</div> </div>	<div> <div> <div> <div>外 気 条 件</div> <div> <div>温度(D.B)</div> <div>湿度</div> </div> </div> <div> <div>室 内 (調整目標値)</div> <div> <div>温度(D.B)</div> <div>湿度</div> </div> </div> </div> <div> <div>夏季</div> <div>34.9℃</div> <div>51.0%</div> <div>28.0℃</div> <div>50%</div> <div>℃</div> <div>%</div> </div> <div> <div>冬季</div> <div>-0.2℃</div> <div>69.9%</div> <div>19.0℃</div> <div>40%</div> <div>℃</div> <div>%</div> </div> </div> <div> <div>1) 冷水・温水・冷温水</div> <div>・配管用炭素鋼鋼管(白管)</div> <div>2) 膨張・空気抜・補給水</div> <div>・配管用炭素鋼鋼管(白管)</div> <div>3) 冷却水</div> <div>・配管用炭素鋼鋼管(白管)</div> <div>4) 蒸気給気</div> <div>・配管用炭素鋼鋼管(黒管)</div> <div>5) 蒸気還水</div> <div>・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370Sch40)</div> <div>6) 油・油用通気</div> <div>・配管用炭素鋼鋼管(黒管)</div> <div>7) 冷媒</div> <div>・断熱材被覆鋼管</div> <div>8) 空調用給水</div> <div>・ステンレス鋼管(SUS304)</div> <div>9) 空調用排水</div> <div>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)・結露防止層付硬質塩化ビニル管</div> </div> <div> <div>図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。</div> <div>トラップの形式はフロートボール式(床置型) ※FRP製保温型</div> <div>1) 厚さ</div> <div>※3.2mm</div> <div>・4.5mm</div> <div>2) ばい煙濃度計</div> <div>・取付ける</div> <div>・取付けない</div> <div>・取付座を取付ける</div> </div> <div> <div>3) ばいじん量測定口(80φ×2)</div> <div>※取付ける</div> <div>・取付けない</div> <div>4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。</div> <div>投光器及び受光器は、送風器付きとする。</div> <div>標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。</div> <div>コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は</div> <div>※不要</div> <div>・図示による。</div> </div> <div> <div>風量30.000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。</div> <div>冷温水管の接続部(注・通)にはボール弁を取付ける。</div> <div>※流量調整弁</div> <div>・流量調整弁</div> <div>・取付ける</div> <div>(定流量弁の場合は</div> <div>・ダイヤフラム式流量可変式</div> <div>・カートリッジオリフィス形)</div> </div> <div> <div>床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。</div> <div>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</div> <div>内外差配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む)</div> <div>パッケージ形空気調和機の記載による。</div> </div> <div> <div>集中管理リモコンの機能は、</div> <div>※標準仕様書に記載されている機能</div> <div>・外部信号を受け一括停止機能</div> <div>・図示する機能</div> <div>・エネルギーの管理に関する機能(外部記憶媒体への出力機能含)</div> </div> <div> <div>リモコンの系統区分は図示による。</div> <div>ろ材ユニットは(・再生式・非再生式)とし、形式及び性能等は図示による。</div> </div> <div> <div>形式</div> <div>※渦流形</div> <div>・歯車形</div> <div>本体の材質</div> <div>※銅板製</div> <div>・ステンレス鋼板製</div> <div>鉄製は</div> <div>※不要</div> </div> <div> <div>1) 据付け方法は</div> <div>※標準図(施工32)(二重殻タンク)</div> <div>・標準図(施工33)(タンク室有り)</div> <div>2) 保護被覆は</div> <div>※FRP</div> <div>・エポキシ樹脂</div> <div>・アスファルト</div> <div>3) 過剰油量指示装置(液面計は(・抵抗変換式・磁変式)で</div> <div>(・屋内・屋外)より油量監視用)を取付ける。</div> </div> <div> <div>4) 基礎杭は</div> <div>※不要</div> <div>・要(但し杭は</div> <div>※別途工事</div> <div>・本工事)</div> <div>5) 土留め工事は</div> <div>※不要</div> <div>・要(・本工事・別途工事)</div> </div> <div> <div>油面計はゲージ式(側圧式)とする。</div> <div>1) ※低圧ダクト</div> <div>・高圧1ダクト</div> <div>・高圧2ダクト</div> <div>2) 長方形ダクトは</div> <div>・コーナーボルト工法</div> <div>(平板フランジ又はスライドオンフランジ)</div> <div>(ただし、長辺が1500mmを超えるものは</div> <div>アングルフランジ工法とする)</div> <div>・アングルフランジ工法</div> </div> <div> <div>3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを</div> <div>1.6mm厚鋼板製とする。</div> <div>4) 扇房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。</div> <div>1) シーリングディフューザーの接続は標準図(施工49)を参考とする。</div> <div>2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用して</div> <div>もよい。</div> <div>3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンバー</div> <div>を設ける。</div> <div>4) 外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合は、雨水等を自然に</div> <div>排出できるように勾配をつける。</div> </div> <div> <div>※垂鉛鉄板製</div> <div>・ガラスウール製</div> </div> <div> <div>・グリSEXストラクター</div> <div>・グリSフィルター</div> <div>標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。</div> <div>・空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト</div> <div>・外気取入れダクト</div> </div> <div> <div>標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。</div> <div>・空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト</div> <div>機器付属以外の温度計は</div> <div>※バイメタル式温度計</div> <div>・ガード付きL形温度計</div> </div> <div> <div>標準図によるほか図示した箇所に取付ける。</div> <div>(1) 防火ダンパーは表示等により区分する。</div> <div>(2) 防煙ダンパー</div> <div>・遠隔復帰式(定格入力はDC24V、0.7A以下。)</div> <div>・メカニカル形</div> <div>・風速センサー形</div> </div> <div> <div>1) エア溜まりを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容</div> <div>易な位置にエア抜き弁装置(※手動・自動)を設ける。</div> <div>2) 自動エア抜き弁装置は、標準図(施工38(g))による。</div> <div>3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則と</div> <div>して分岐部より2mとする。</div> </div>	<div> <div>28. 消音内貼り</div> <div>29. 機器用基礎</div> <div>30. 空調用流体の水質基準</div> <div>31. フィルターの予備品</div> <div>排</div> <div>煙</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>自</div> <div>動</div> <div>制</div> <div>御</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>衛</div> <div>生</div> <div>器</div> <div>具</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>給</div> <div>水</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>2. 弁類</div> <div>3. 量水器</div> <div>4. 量水器樹</div> <div>5. 定水位調整弁</div> <div>6. 緊急遮断弁装置</div> <div>7. 水栓柱</div> <div>8. 不凍水栓柱</div> <div>9. 水栓</div> <div>10. タンク</div> <div>11. 引込納付金等</div> <div>12. 鋼管のコンクリート巻き</div> <div>排</div> <div>水</div> <div>設</div> <div>備</div> </div>	<div> <div>1) 空調用の吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー</div> <div>類とする。</div> <div>2) 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。</div> <div>3) 吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を取付</div> <div>ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。</div> <div>防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほ</div> <div>か、図示による。</div> <div>日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用 waters ガイドライン)による。</div> </div> <div> <div>空気調和機器等又は7/8インチの接着枚数の100%を予備品(特付)として納める</div> <div>かつ、この中には総合数の(・50%・100%)に当たる7/8インチを予備品(特付)</div> <div>として納める。</div> <div>自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。</div> </div> <div> <div>※垂鉛鉄板製</div> <div>・銅板製(厚1.6mm)</div> <div>・パネル形(・天井取付・壁取付)</div> <div>・スリット形(・天井取付・壁取付)</div> <div>・ダンパー形(・天井内取付・)</div> <div>電気式(遠隔操作</div> <div>※不要</div> <div>・要)</div> </div> <div> <div>排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.</div> <div>1.1.1による耐熱・耐火ケーブルとする。</div> </div> <div> <div>建築設備定期検査業務基準書2016年版(一財)日本建築設備・昇降</div> <div>機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。</div> </div> <div> <div>図示による。</div> <div>調節器等の取付け高さは</div> <div>※1300mm</div> <div>・</div> <div>屋内用キャビネットは</div> <div>※銅板製</div> <div>・ステンレス鋼板製</div> <div>・有り(構成機能は図示による)</div> <div>・無し</div> </div> <div> <div>1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。</div> <div>天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</div> <div>2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は</div> <div>一般共通事項19.電線類の規格による。</div> <div>(機器、盤類はこれによらずともよい)</div> <div>用途:</div> <div>①電線線、接地線</div> <div>②電気式の調節器(サーモ・ヒューミ等)用電線</div> <div>③各種検出器(温度・湿度等)、操作器(バルブ・ダンパー等)</div> <div>における弱電信号、通信線を除く制御線</div> </div> <div> <div>1. 一般事項</div> <div>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同</div> <div>等品とする。</div> <div>大便器、小便器には、標記板(アクリル板に印刷可)を取付ける。</div> <div>形式は(※小便器一体型・小便器分離型)とする。</div> <div>洗浄水量4リットル/回以下とする。</div> <div>※個別感知方式(※AC電源・乾電池)</div> <div>・手動式</div> <div>電源種別は</div> <div>※AC電源</div> <div>・自己発電</div> <div>・乾電池</div> <div>肢体不自由者用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、</div> <div>※設ける</div> <div>・設けない</div> </div> <div> <div>操作方式</div> <div>・電気開閉式(・センサー式・タッチスイッチ式)</div> <div>・手動式</div> </div> <div> <div>洗浄水加水方式は(・瞬間方式・貯湯方式)とし、付加機能は</div> <div>図示による。</div> <div>※標準図(施工65)</div> <div>・標準図(施工66)</div> <div>・水栓は節水コマ付きを採用する。</div> <div>・水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。</div> </div> <div> <div>1) 一般配管用</div> <div>・水道用硬質塩化ビニル管(SGP-VB・FVB)</div> <div>2) 土間配管用</div> <div>・水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)・架橋ポリ塩化ビニル管</div> <div>・水道用硬質塩化ビニル管(SGP-VB・FVB)</div> <div>・水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)・架橋ポリ塩化ビニル管</div> <div>3) 地中配管用</div> <div>・水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)</div> <div>・水道配用水用ポリ塩化ビニル管</div> <div>・水道用ポリ塩化ビニル二層管</div> </div> <div> <div>4) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。</div> <div>電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、</div> <div>全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、</div> <div>蒸発残留物</div> </div> <div> <div>1) 公営水道に直接する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。</div> <div>2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。</div> <div>3) 給水引込部の(・止水栓・弁側)は水道事業者指定品とする。</div> </div> <div> <div>1) 親メーター</div> <div>※借用</div> <div>・買取り(・直読・遠隔表示)</div> <div>2) 子メーター</div> <div>※買取り</div> <div>・借用(・直読・遠隔表示)</div> </div> <div> <div>現地表示式(直読式)の表示機構は</div> <div>※湿式7/8インチ</div> <div>・乾式7/8インチ</div> <div>遠隔表示式は(※バルブ式・電気式)発信器を備える。</div> </div> <div> <div>1) 親メーター用</div> <div>※水道事業者の指定品</div> <div>・標準図(機材57)</div> <div>2) 子メーター用</div> <div>※標準図(機材57)</div> <div>・水道事業者の指定品</div> </div> <div> <div>・標準仕様書による</div> <div>・水道事業者指定品</div> <div>・定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</div> </div> <div> <div>遮断弁の駆動方式は(※電気式・機械式)とする。</div> <div>※合成樹脂製</div> <div>・ステンレス製</div> </div> <div> <div>寸法</div> <div>※約70mm角全長約1300mm</div> <div>・図示による</div> <div>寸法</div> <div>※全長約1300mm</div> <div>・図示による</div> </div> <div> <div>1) 屋外の水栓は</div> <div>・キー式ハンドル</div> <div>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</div> </div> <div> <div>給水栓用配管の接続口を(※設ける</div> <div>・設けない)ものとする。</div> <div>2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。</div> </div> <div> <div>※別途工事</div> <div>・本工事</div> <div>弁の寸法、散水栓の寸法等はコンクリート巻き仕上とする。(但し舗装等の</div> <div>仕上り部分は除く。)</div> <div>(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</div> </div> <div> <div>1) 屋内汚水管</div> <div>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</div> <div>(第1樹まで含む)</div> <div>・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)</div> <div>2) 屋内雑排水管</div> <div>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</div> <div>(第1樹まで含む)</div> <div>・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)</div> <div>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</div> <div>3) 通気管</div> <div>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</div> <div>・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)</div> </div>	<div> <div>水</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>給</div> <div>湯</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>消</div> <div>火</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>ガ</div> <div>ス</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>ガ</div> <div>ス</div> <div>メ</div> <div>ー</div> <div>タ</div> <div>ー</div> <div>容</div> <div>器</div> <div>転</div> <div>倒</div> <div>防</div> <div>止</div> <div>浄</div> <div>化</div> <div>槽</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>雨</div> <div>水</div> <div>利</div> <div>用</div> <div>設</div> <div>備</div> <div>冷</div> <div>媒</div> <div>の</div> <div>回</div> <div>収</div> <div>方</div> <div>法</div> <div>に</div> <div>つ</div> <div>い</div> <div>て</div> </div>	<div> <div>4) 屋外排水管</div> <div>・硬質ポリ塩化ビニル管(VU)</div> <div>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(車道部)</div> </div> <div> <div>記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。</div> <div>水中形三相誘導電動機は、(※乾式・油封式)とする。</div> <div>電動機の極数は図示による。</div> <div>着脱装置、スドレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。</div> <div>※別途工事</div> <div>・本工事</div> </div> <div> <div>小口径側等はコンクリート巻き仕上とする。(但し舗装等の仕上</div> <div>部分は除く。)</div> <div>(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</div> </div> <div> <div>1. 配管材料</div> <div>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</div> <div>2. 弁類</div> <div>3. 保温</div> </div> <div> <div>1) ・保温付被覆鋼管</div> <div>・銅管</div> <div>・ステンレス鋼管</div> <div>・耐熱性ライニング鋼管</div> <div>・架橋ポリ塩化ビニル管</div> <div>2) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</div> <div>図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。</div> <div>ただし、公営水道に直接する部分及び特記部分は、10Kとする。</div> <div>湯沸器の給排水口の隠ぺい箇所は保温 h・(イ)・D を行う。</div> </div> <div> <div>1) 屋内消火栓</div> <div>一般配管用</div> <div>・配管用炭素鋼鋼管(白管)</div> <div>地中配管用</div> <div>・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</div> <div>(SGP-VS)</div> <div>2) 連結送水管</div> <div>一般配管用</div> <div>・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)</div> <div>・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</div> <div>(STPG370-VS)</div> <div>3) 一般配管用</div> <div>※10K</div> <div>・16K</div> </div> <div> <div>1) 呼水タンクの保温</div> <div>※施工しない</div> <div>・施工する</div> <div>2) 充水タンクの保温</div> <div>※施工しない</div> <div>・施工する</div> <div>3) 消火配管の保温は次による。</div> <div>(屋外露出、寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅶによる)</div> <div>・屋内消火栓</div> <div>※施工しない</div> <div>・施工する</div> <div>・スプリングクラ</div> <div>※施工しない</div> <div>・施工する</div> <div>・連結送水</div> <div>※施工しない</div> <div>・施工する</div> <div>・連結散水</div> <div>※施工しない</div> <div>・施工する</div> </div> <div> <div>※広範囲型2号消火栓</div> <div>・2号消火栓</div> <div>・易操作1号消火栓</div> <div>・1号消火栓</div> </div> <div> <div>開閉弁の材質は</div> <div>・鉄製(要部青銅製)</div> <div>・ステンレス鋳物製</div> <div>箱の材質は</div> <div>※鋼板製</div> <div>・ステンレス鋼板製</div> </div> <div> <div>1. 都市ガス設備</div> <div>2. 配管材料</div> <div>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</div> <div>3. ガス漏れ警報器</div> <div>4. 充てん容器</div> <div>5. バルク貯槽</div> <div>6. ガスメーター</div> <div>7. 容器転倒の配管</div> <div>8. 容器転倒防止</div> </div> <div> <div>ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。</div> <div>1) 都市ガス</div> <div>ガス事業者の定めによる。</div> <div>2) 液化石油ガス</div> <div>一般配管用</div> <div>・配管用炭素鋼鋼管(白管)</div> <div>地中埋設用</div> <div>・ポリエチレン被覆鋼管</div> </div> <div> <div>※不要</div> <div>・要(取付け位置は図示による。外部出力端子</div> <div>・不要</div> <div>・要)</div> <div>警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。</div> <div>※10kg</div> <div>・20kg</div> <div>・50kg</div> <div>_____本</div> </div> <div> <div>※借用</div> <div>・買取り</div> <div>・縦型</div> <div>・横型</div> <div>最大充てん量</div> <div>_____kg</div> <div>・借用</div> <div>※買取り</div> </div> <div> <div>1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。</div> <div>2) 子メーター計量方式(・直読・遠隔表示)</div> </div> <div> <div>施工方法は標準図(施工73)の</div> <div>・(a)</div> <div>・(b)</div> <div>・(c)</div> <div>施工方法は標準図(施工74)の</div> <div>・(a)</div> <div>・(b)</div> </div> <div> <div>1. 処理種別及び方式</div> <div>・小規模合併処理</div> <div>(・団体流動生物造過方式・嫌気分離接触槽床方式)</div> <div>・合併処理(・</div> <div>図示による。</div> </div> <div> <div>2. その他</div> </div> <div> <div>図示による。</div> <div>1) 一般配管用</div> <div>・ポリ粉体鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA)</div> <div>2) 土間配管用</div> <div>・ポリ粉体鋼管(SGP-PB)(SGP-FPD)</div> <div>3) 地中配管用</div> <div>・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)</div> </div> <div> <div>図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。</div> <div>※バルブ式</div> <div>・直読式</div> <div>・ナイフ仕切弁</div> <div>・偏心式プラグ弁</div> <div>・バタフライ弁</div> </div> <div> <div>目幅の有効開閉は(※5mm</div> <div>_____mm)</div> <div>とする。</div> <div>構成その他は図示による。</div> </div> <div> <div>冷媒の回収方法について</div> </div> <div> <div>冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は(※本工事・別途工事)とする。</div> <div>(1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」に</div> <div>従って行い、監督職員に次の書類を提出する。</div> <div>①第1種フロン類充填回収業者の登録通知書(都道府県知事登録)の写し</div> <div>②事前確認書の写し</div> <div>③回収依頼書の写し</div> <div>④引取証明書</div> <div>⑤破壊証明書の写し</div> <div>(2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象と</div> <div>なっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウン</div> <div>による。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。</div> <div>①特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し</div> </div>	<div> <div>石綿含有設備資材の処理について</div> <div>1. 石綿を含有する設備資材の撤去方法</div> <div>1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。</div> <div>撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法</div> <div>律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行</div> <div>い、監督職員に報告を行う。</div> <div>2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾</div> <div>を得ること。</div> <div>(1) ダクトフランジ部</div> <div>ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。</div> <div>1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の</div> <div>塗布又はビニルテープ貼り等を施す。</div> <div>2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。</div> <div>3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に飛散防止措置を施し、もう片</div> <div>側の切断を行う。</div> <div>(2) たわみ継手フランジ部</div> <div>たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。</div> <div>1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散</div> <div>抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。</div> <div>2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。</div> <div>3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に飛散防止措置を施す。</div> <div>(3) 配管フランジ部</div> <div>配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。</div> <div>1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。</div> <div>(4) 成形保温材付き配管の曲線部</div> <div>成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。</div> <div>1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに</div> <div>、成形保温材前後の保温材を撤去する。</div> <div>2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。</div> <div>3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。</div> </div> <div> <div>II. 石綿を含有する設備資材の処理方法(※搬出費・運搬費・処分費は別途)</div> <div>(1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。</div> <div>(2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」</div> <div>の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイク</div> <div>ル法、地方自治体による条例」等に基づき横外搬出適切処理とする。</div> <div>(3) 横外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。</div> <div>(4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。</div> </div> <div> <div>フランジ外周部に飛散抑制剤の</div> <div>塗布又はビニルテープ貼り等</div> <div>100</div> <div>100</div> <div>100</div> <div>100</div> <div>石綿含有ガスケット</div> <div>ダクト切断部</div> <div>機器切断部</div> <div>ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS</div> <div>100</div> <div>100</div> <div>成形保温材に</div> <div>飛散抑制剤の塗布</div> <div>成形保温材前後</div> <div>の保温材撤去</div> <div>配管切断箇所</div> <div>100</div> <div>成形保温材付き配管撤去要領図 S=NS</div> </div> <div> <div>建築物解体工事(機械設備の部)</div> </div> <div> <div>I. 工 事 概 要 (解体工事の部)</div> <div>1. 工 事 内 容 (解体工事の部)</div> <div>1) 特記仕様書(機械設備の部) I. 2. 建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。</div> <div>2) 上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を含めて全て撤去する。</div> <div>アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋め戻し・整地は別途建築工事とする。</div> <div>3) 本工事による撤去機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。(図面は参考とする)</div> <div>(1) 建物については、</div> <div>①重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。</div> <div>図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。</div> <div>(コンクリート基礎の撤去は建築に含む。)</div> <div>②人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。</div> <div>フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。</div> <div>③熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、</div> <div>(※本工事・別途工事)とする。</div> <div>(2) その他の機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機に</div> <div>よる取り壊しとする。</div> <div>(3) 屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。</div> <div>図示された樹類のうち、量水器樹、弁樹、散水栓BOX、ため樹、インバート樹は、</div> <div>建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。</div> <div>配管およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。</div> <div>(4) 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。</div> <div>4) 撤去する配管、ダクト(付属品含む)の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。</div> <div>5) 浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。</div> <div>(浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない)</div> <div>II. 工 事 仕 様 (解体工事の部)</div> <div>1. 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工</div> <div>事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)により、解体共通仕様書</div> <div>に記載されていない事項は、特記仕様書(機械設備工事の部)による。</div> </div>	<div> <div>工事名：</div> <div>図面名：</div> <div>縮尺：</div> <div>—</div> <div>A2版：100%</div> <div>A3版：70%</div> <div>査図：</div> <div>部長：</div> <div>課長：</div> <div>主任：</div> <div>担当：</div> <div>日付：</div> <div>R 6 年</div> <div>図番：</div> <div>M — 02</div> </div>
---	--	--	---	--	---	--	---	---



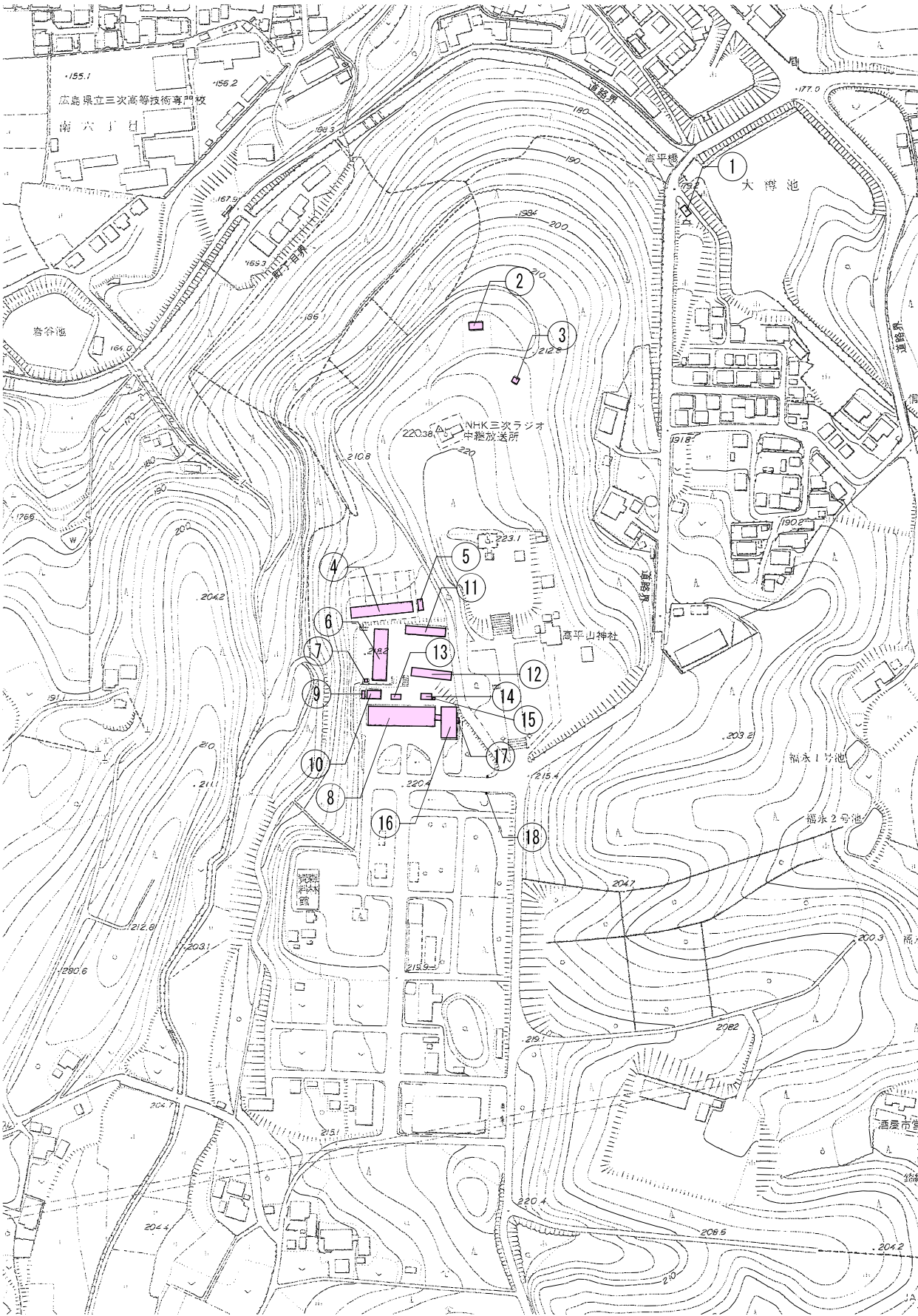
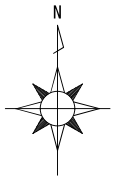


出典：国土地理院

工事場所：三次市十日市町高平10168-1

附近見取図

解 体 物 概 要					
記号	名称	構造・規模	記号	名称	構造・規模
①	一次ポンプ室	鉄筋コンクリート造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：7.56㎡	⑪	車庫	鉄骨造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：148.48㎡
②	来場者休憩所 (展望台)	鉄筋コンクリート造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：40.50㎡	⑫	車庫	鉄骨造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：88.70㎡
③	便所	鉄筋コンクリート造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：6.00㎡	⑬	浄化槽	鉄筋コンクリート造 〔解体撤去処分〕 T M式汚水浄化槽(9m3、80人槽)
④	雑工作物 放飼場	鉄骨造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：200.00㎡	⑭	二次ポンプ室	C B造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：24.82㎡
⑤	放飼場資材倉庫	鉄骨造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：19.87㎡	⑮	雑工作物 焼却炉	既製品(型式：S H 1 1 1) 〔解体撤去処分〕 参考重量：1,000kg
⑥	研修所棟	鉄筋コンクリート造2階建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：618.17㎡	⑯	実習室兼事務室棟 -1	鉄筋コンクリート造2階建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：400.00㎡
⑦	倉庫	鉄骨造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：2.89㎡	⑰	分析実験室 -2 (実習室兼事務室棟2階)	上記による
⑧	本館	鉄筋コンクリート造2階建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：1,096.96㎡	⑱	ガスボンベ庫	C B造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：6.56㎡
⑨	駐輪場	木造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：9.00㎡	⑲	門	鉄筋コンクリート造 〔解体撤去処分〕 W1,000×9600×H1,800
⑩	倉庫	鉄骨造平屋建て 〔解体撤去処分〕 延べ面積：49.69㎡			
特記事項 ・斜線の建物は機械設備なし ・					



配置図 S=1/2,500

凡例

：解体建物等を示す



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

図面名：

附近見取図、配置図

縮尺：

1/2,500
A2版：100%
A3版：70%

査図：

部長：

課長：

主任：

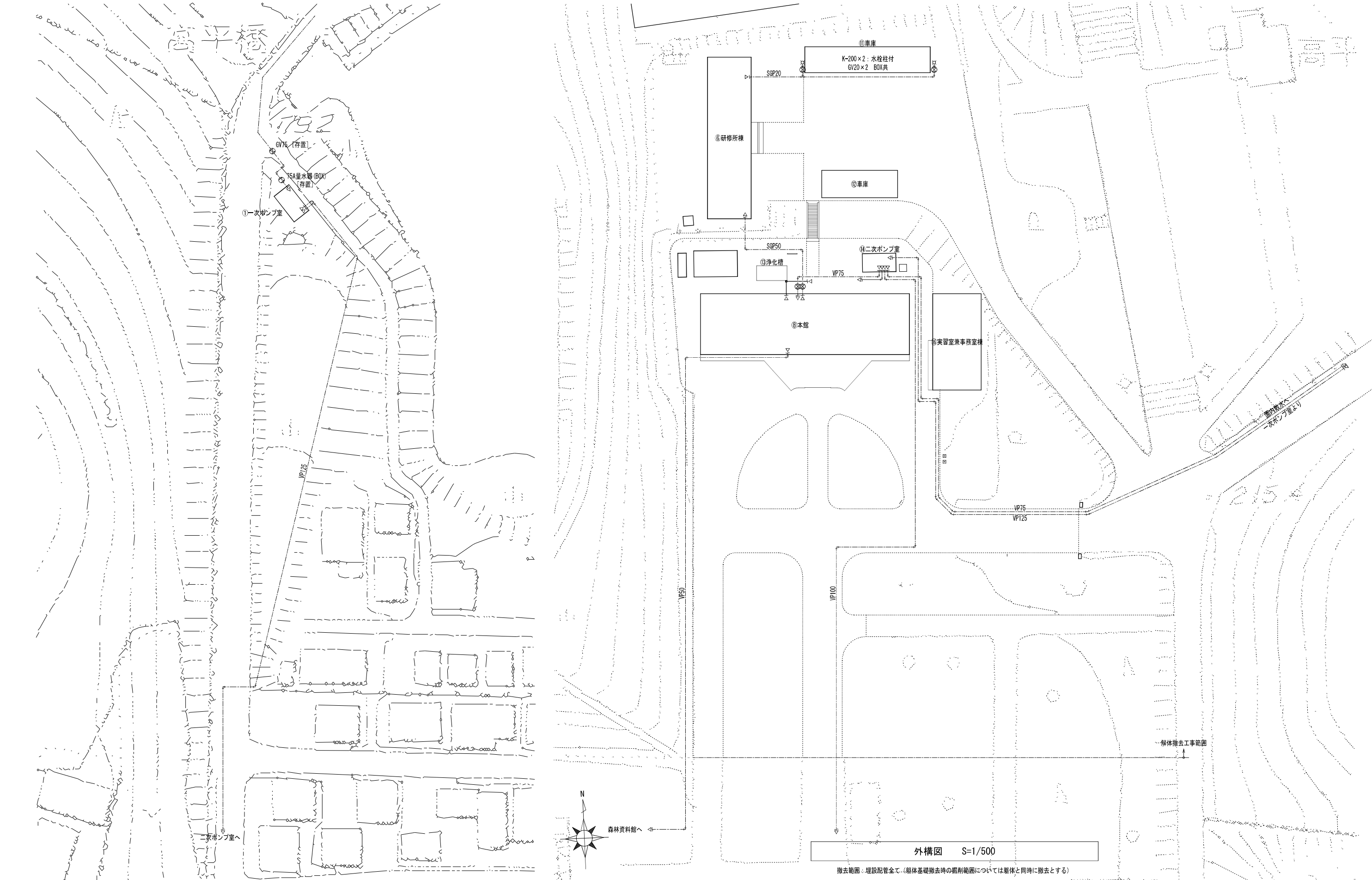
担当：

日付：

R 6 年

図番：

M - 03



①1次ポンプ室
構造・規模：CB造 平屋建て
床面積：7.56㎡

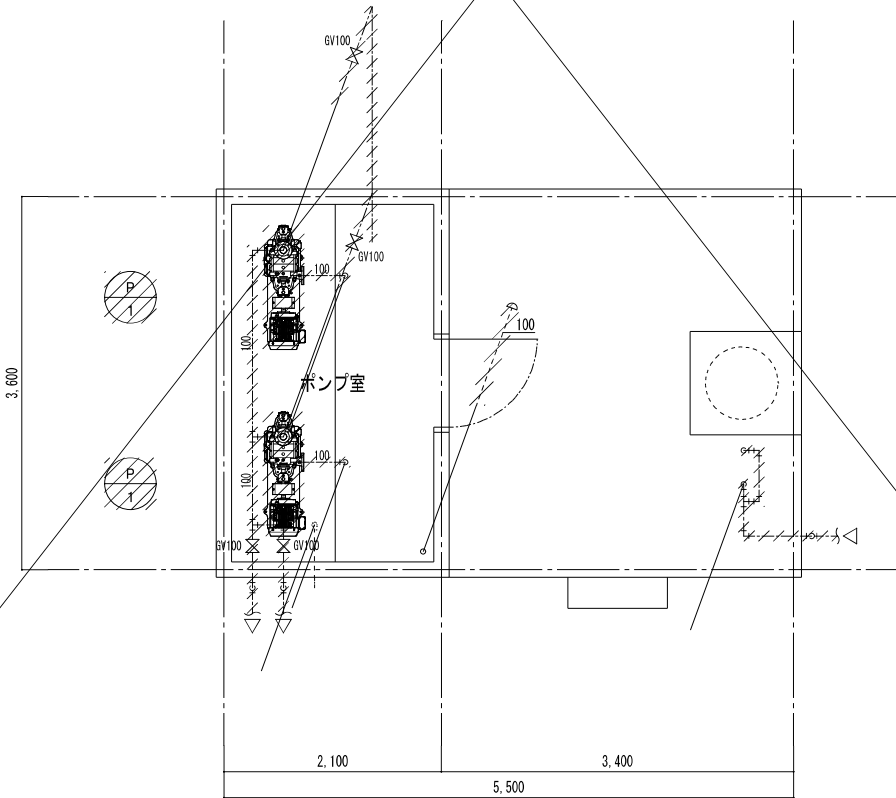
⑭二次ポンプ室
構造・規模：CB造 平屋建て
床面積：24.82㎡

機器仕様（撤去）

記号	名 称	仕 様	数
P-1	給水ポンプ	多段渦巻きポンプ	2
		100A*2.2KW	

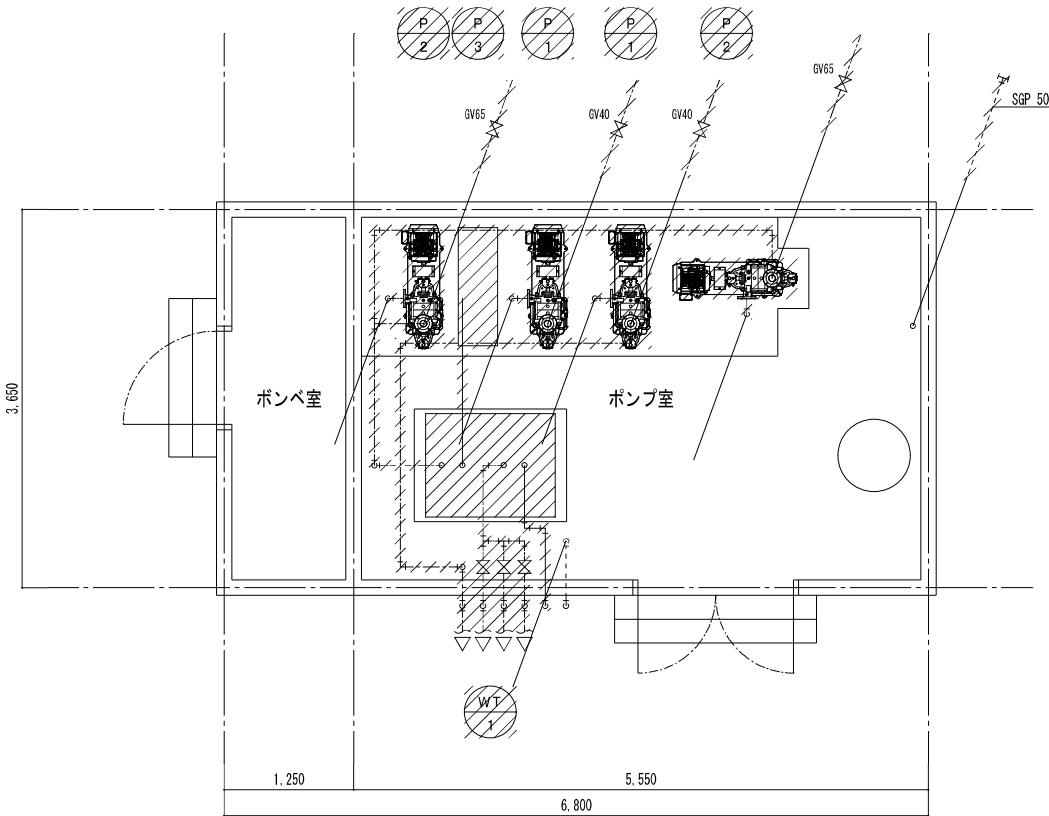
機器仕様（撤去）

記号	名 称	仕 様	数
P-1	揚水ポンプ	渦巻きポンプ	2
		40A*2.2KW	
P-2	圧力ポンプ	渦巻きポンプ	2
		65A*7.5KW	
P-3	コンプレッサー	オイルフリーベビコン	1
		1.5KW	
WT-1	圧力水槽	ステンレス製	1
		第2種圧力容器、内容積：1.25m3	



平面図 S=1/50

撤去範囲：機器及び露出配管



平面図 S=1/50

撤去範囲：機器及び露出配管



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名： 県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

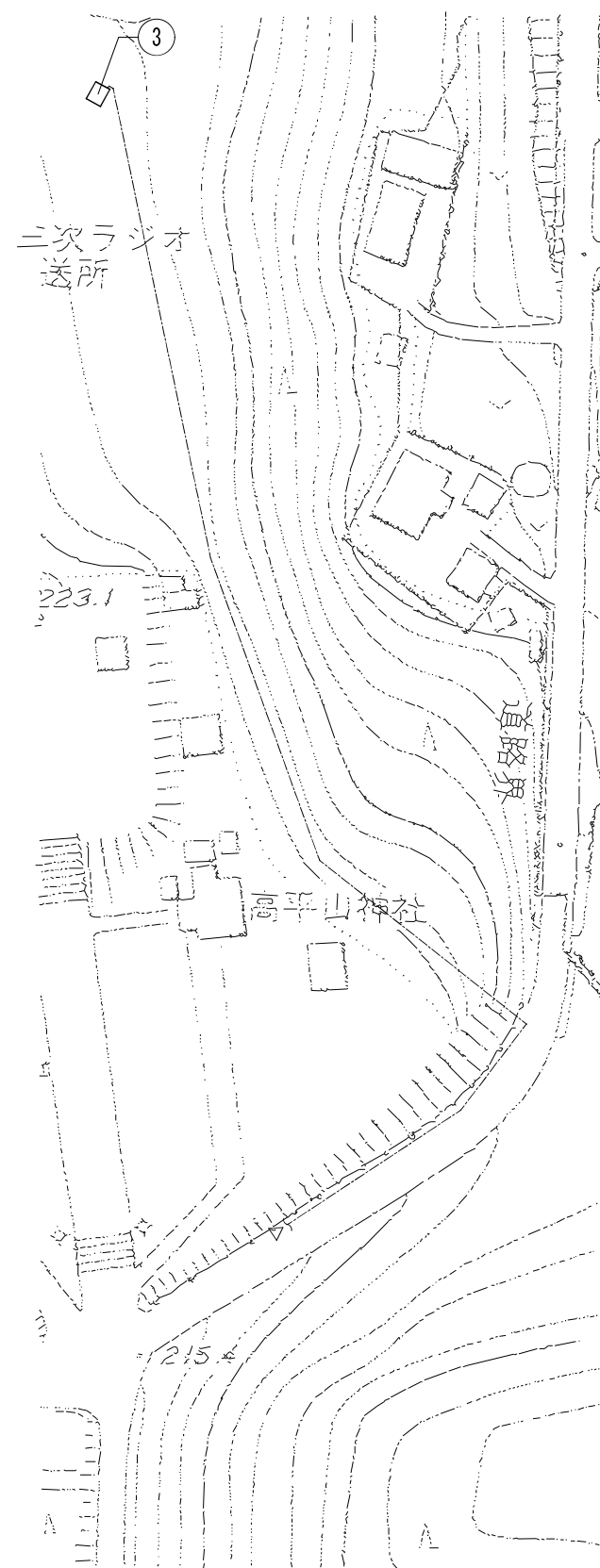
図面名： ①一次ポンプ室、⑭二次ポンプ室
平面図

縮尺： 1/50
A2版：100%
A3版：70%

査図： 部長： 課長： 主任： 担当：

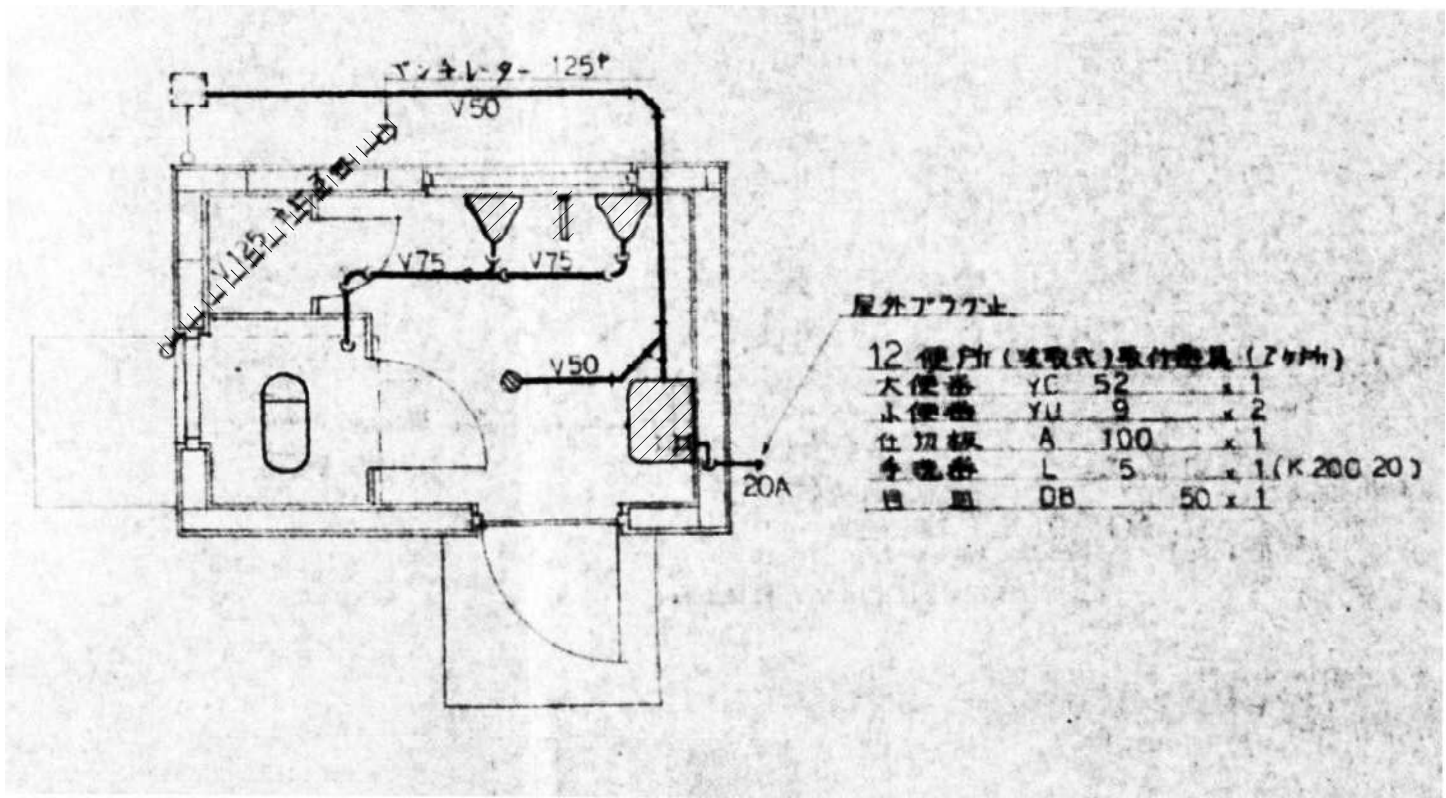
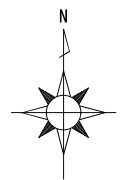
日付： R 6 年

図番： M - 05



配置図

撤去範囲：埋設配管全て（躯体基礎撤去時の掘削範囲については躯体と同時に撤去とする）



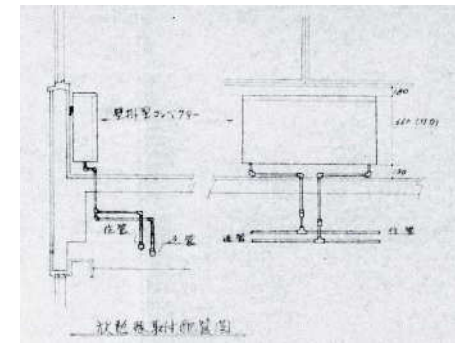
平面図 S=1/30

撤去範囲：機器（大便器は除く）及び露出配管

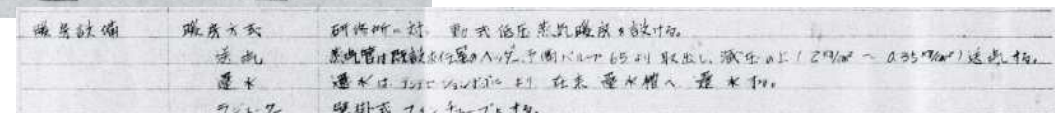
屋外アラケ止

12 便所（吸吸式）取付器具（2ヶ所）

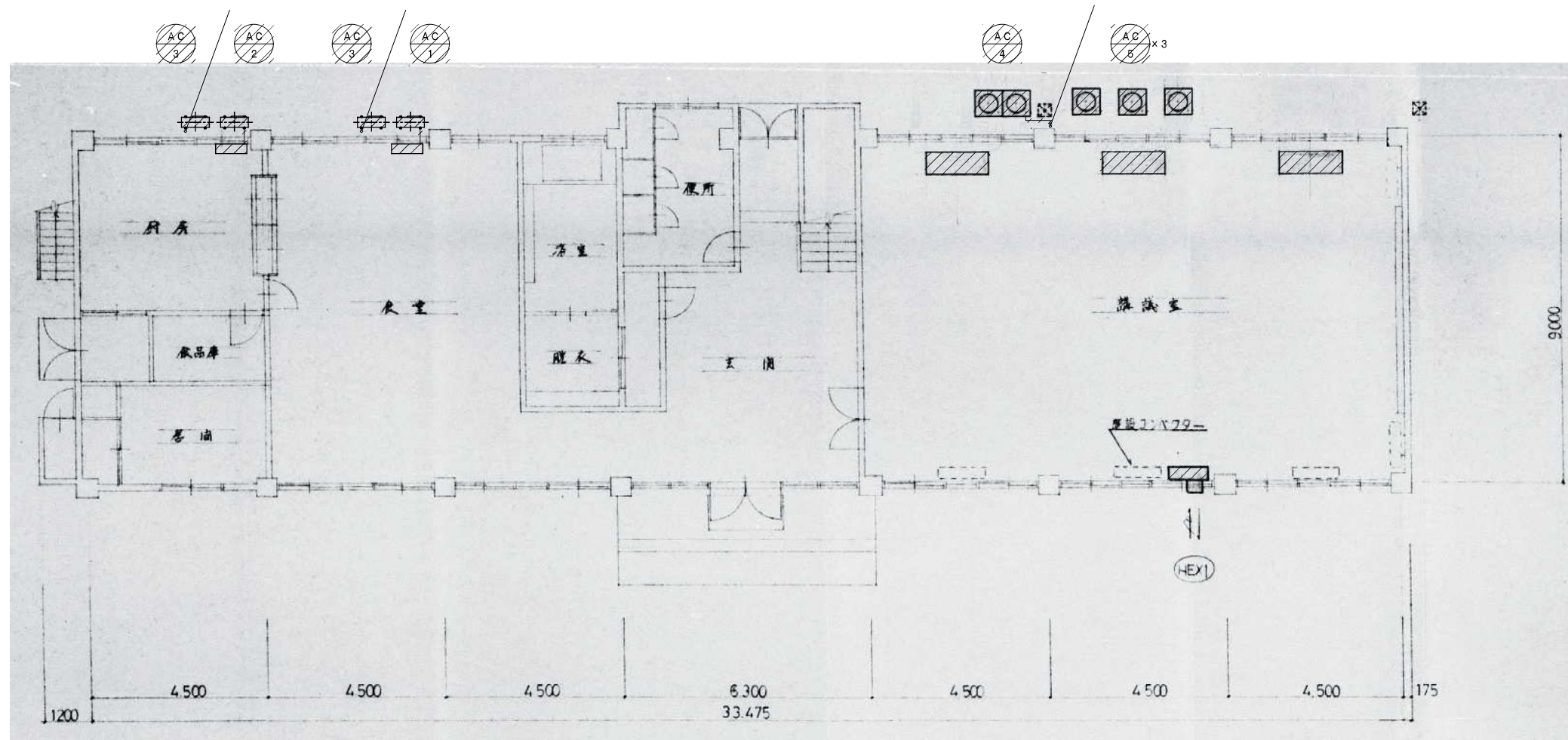
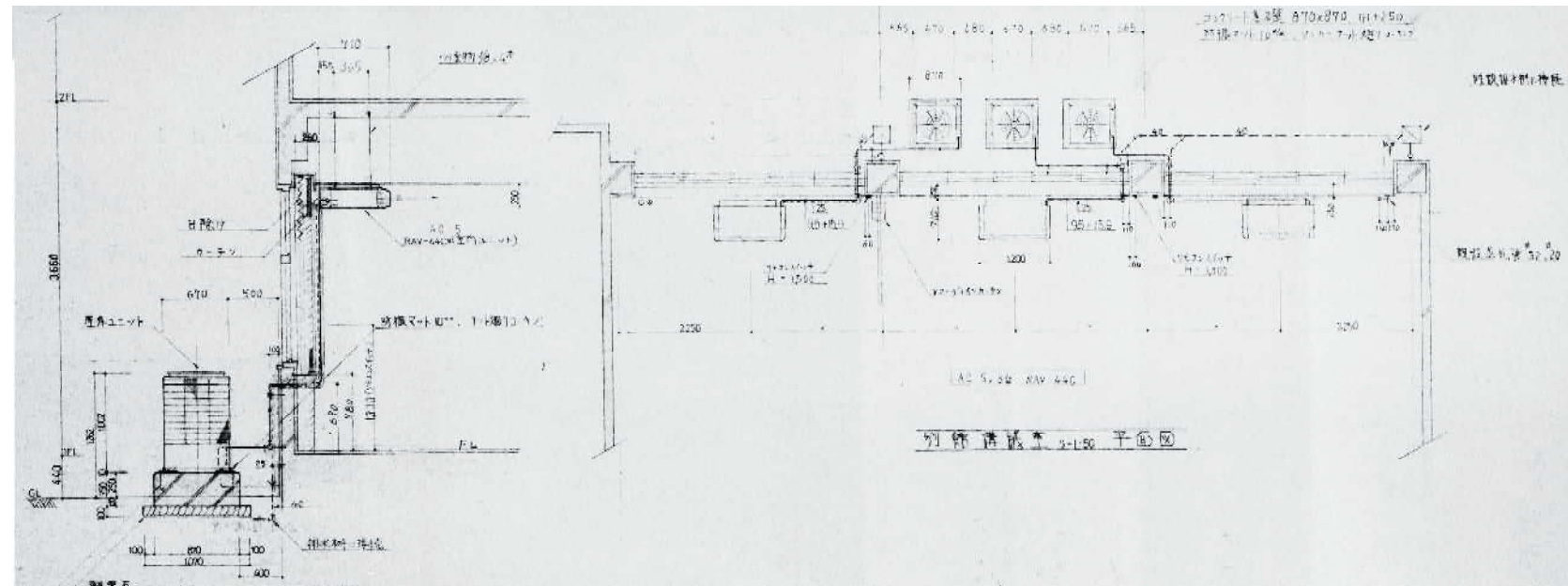
大便器	YC	52	× 1
小便器	YU	9	× 2
仕切板	A	100	× 1
手洗器	L	5	× 1 (K 200 20)
目 皿	DB	50	× 1



撤去範囲：機器及び露出配管



撤去範囲：機器及び露出配管

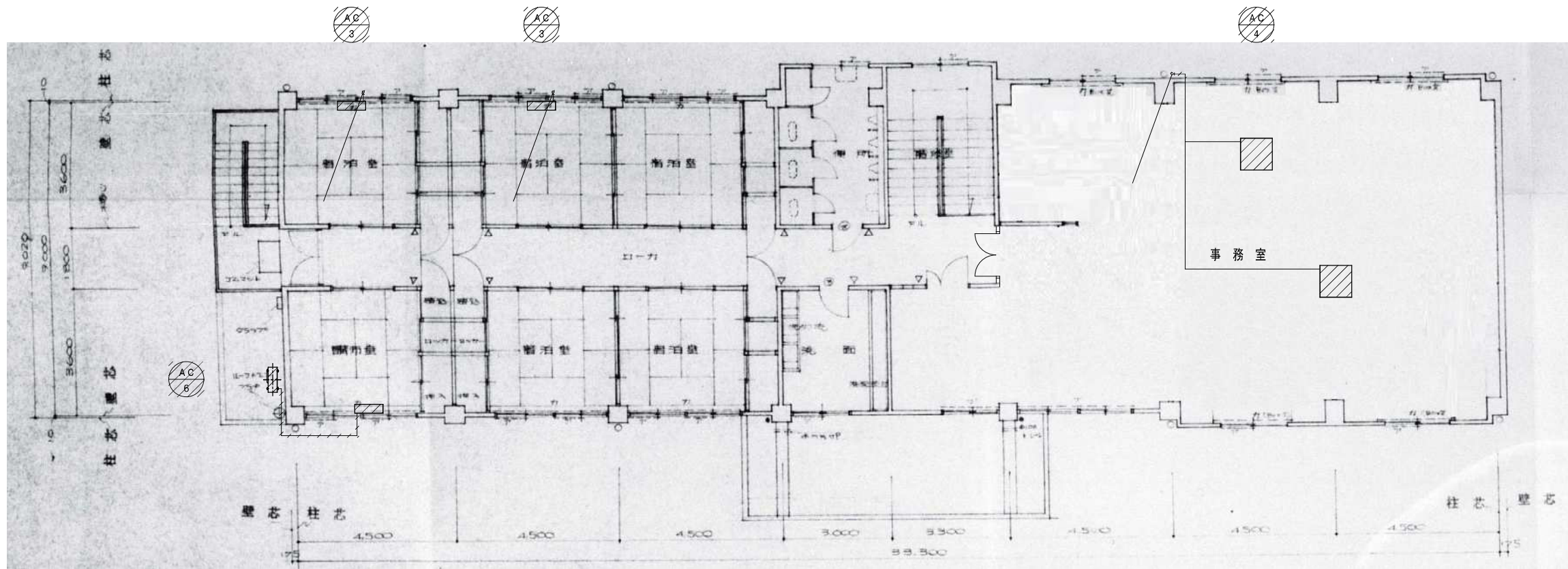


1F 空調設備平面図 S=1/100

撤去範囲：機器及び露出配管

機器仕様（撤去）

記号	名 称	仕 様	数	記号	名 称	仕 様	数
A C－1	空冷ヒートポンプエアコン	床置形	1	A C－5	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	3
		圧縮機 3.75kW／冷房能力 12.4kW				圧縮機 3.75kW／冷房能力 10.5kW	
		冷媒：R22 3.8kg				冷媒：R22 2.8kg	
A C－2	ルームエアコン	壁掛形	1	A C－6	ルームエアコン	壁掛形	1
		圧縮機 0.75kW／冷房能力 2.8kW（参考）				圧縮機 0.70kW／冷房能力 2.8kW	
		冷媒：R22 0.7kg（参考）				冷媒：R22 0.75kg	
A C－3	ルームエアコン	壁掛形	2	H E X－1	全熱交換型換気扇	風量：360m ³ /h、温度交換率：69%、エンタルピー交換率：55%	1
		圧縮機 0.75kW／冷房能力 2.8kW（参考）					
		冷媒：R22 0.63kg					
A C－4	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット形	1				
		圧縮機 3.5×1+3.75×1kW／冷房能力 25.0kW					
		冷媒：R407C 15.6kg					

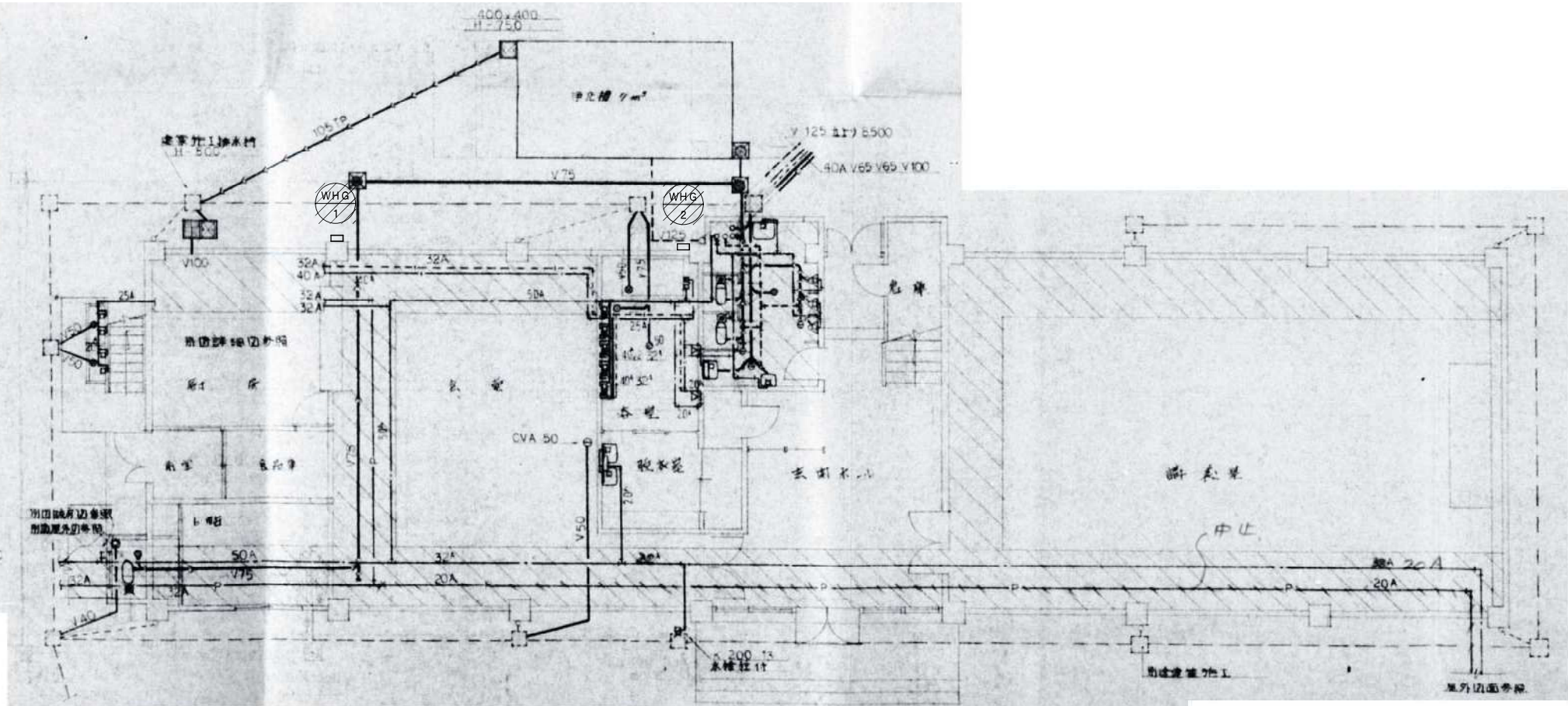


2F 空調設備平面図 S=1/100

撤去範囲：機器及び露出配管

既備取付器具				
名	材 記	号	数	
給 水 栓	K	200	13	4
目 録	DB		40	1
其 他	KSHA		40	1

便所取付器具				
名	材 記	号	数	
大 便 器	C 575 AV		1	K 150AC
手 洗 金	L 60		1	K 20
座トランプ	KT 5 A	40	1	



工事項目	工事内容	材 質	要 求
配管材料	配管材料		
	排水管	水通用白鉄管一部水通明ビニール管	JIS G 3441
	排水配管	屋外排水排水配管 硬質塩化ビニール管 排水管一部白鉄管	JIS G 3452 (黒) JIS G 3442
	蒸気管 油管	黒鋼管	JIS G 3452 (黒)
	中圧配管	白鋼管 及 銅管	JIS G 3442
既設配管の調査	調査	配管の調査	配管の調査

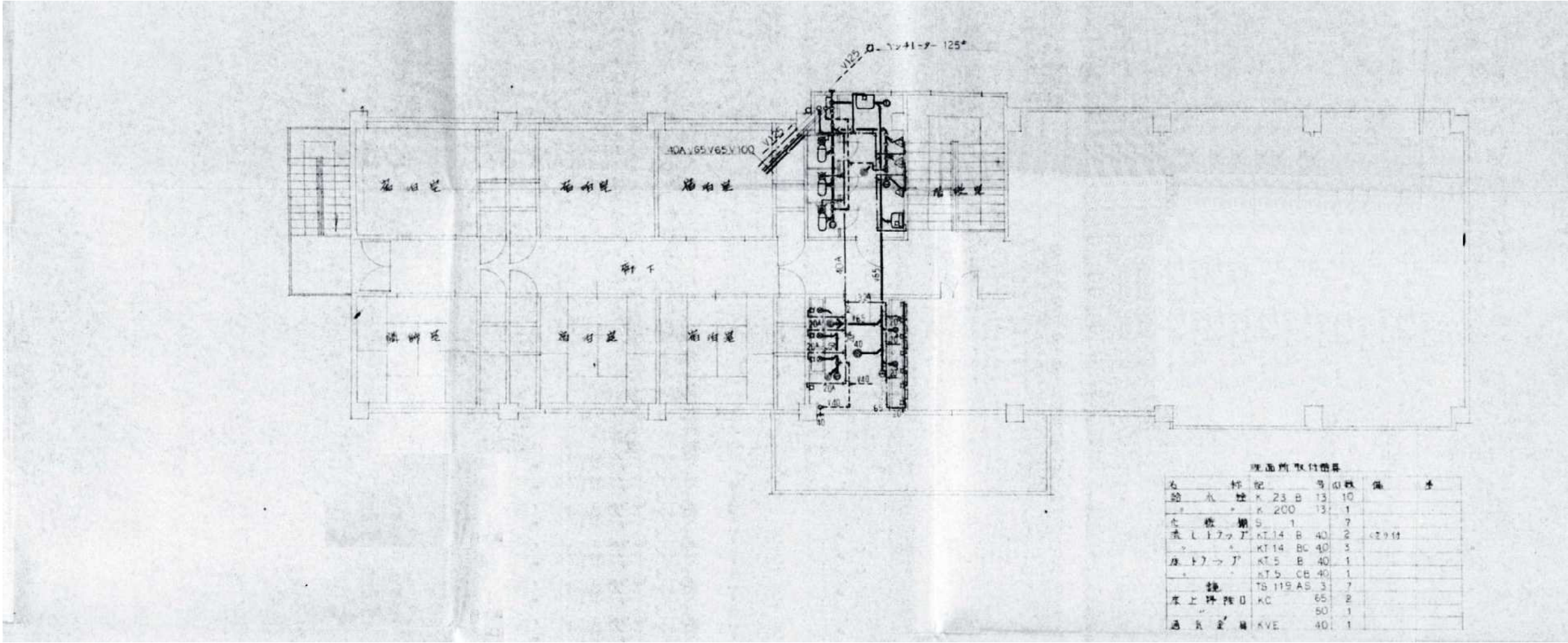
浴室取付器具				
名	材 記	号	数	備 考
給 水 栓	K	25 D	13	5
給 湯 栓	K	25 D	13	5
シャワーヘッド	TS 170 CGRY		2	ハット シャワー
座トランプ	KT 5 A	50	2	
浴槽排水金具	KT 15 BP	50	1	
給 湯 栓	K	25 D	20	1
給 水 栓	K	25 D	20	1
浴槽				
脱衣室				
洗面台	L	230 D	2	K 205
化粧鏡	S	3	1	
鏡	TS 119 AS	3	2	

機器仕様（撤去）

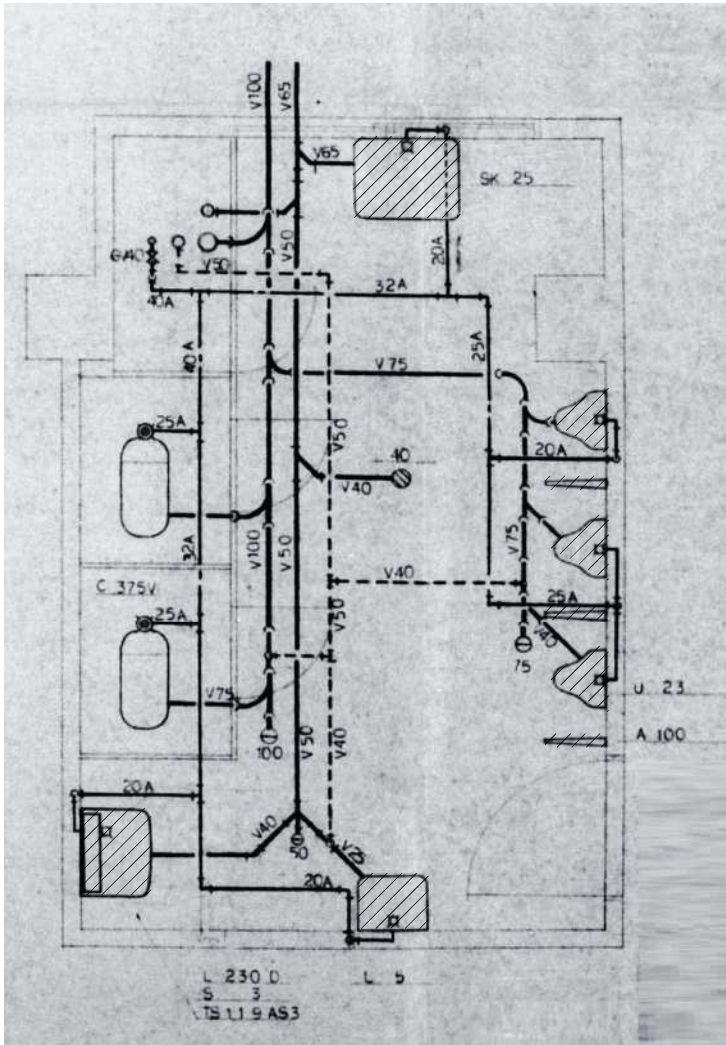
記号	名 称	仕 様	数
WHG-1	瞬間湯沸器	LPガス用 16号	1
	判断不可		
WHG-2	瞬間湯沸器	LPガス用 4.96kg/h 32号	1
	OUR-3200V		

1F 給排水・衛生設備平面図 S=1/100

撤去範囲：機器及び露出配管

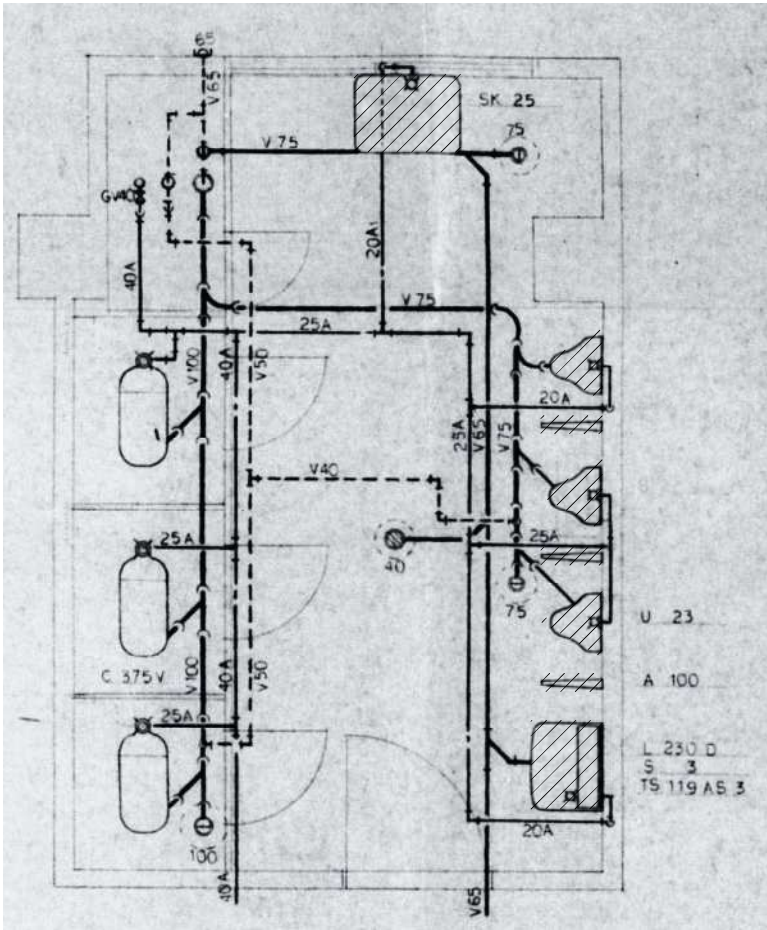


2F 給排水・衛生設備平面図 S=1/100
撤去範囲：機器及び露出配管



1F 給排水・衛生設備平面詳細図 S=1/30

撤去範囲：機器（大便器は除く）及び露出配管



2F 給排水・衛生設備平面詳細図 S=1/30

撤去範囲：機器（大便器は除く）及び露出配管

1.2 隔便所取付器具					
名	称	配	量	1	2
組	月	大	便	器	
止	便	器	U	23	3
電	面	器	L	230	D
手	洗	器	L	5	D
排	尿	口	SK	25	
化	粧	鏡	S	3	
鏡		TS	119	AS	3
作	務	箱	A	100	
床	ト	ラ	マ	ア	
床	上	排	尿	口	
手	洗	器	KC	100	
手	洗	器	KC	75	
手	洗	器	CVA	100	
手	洗	器	CVA	75	
手	洗	器	CVA	50	
作	務	箱	GY	40	
通	気	金	KVE	65	



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名： 県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

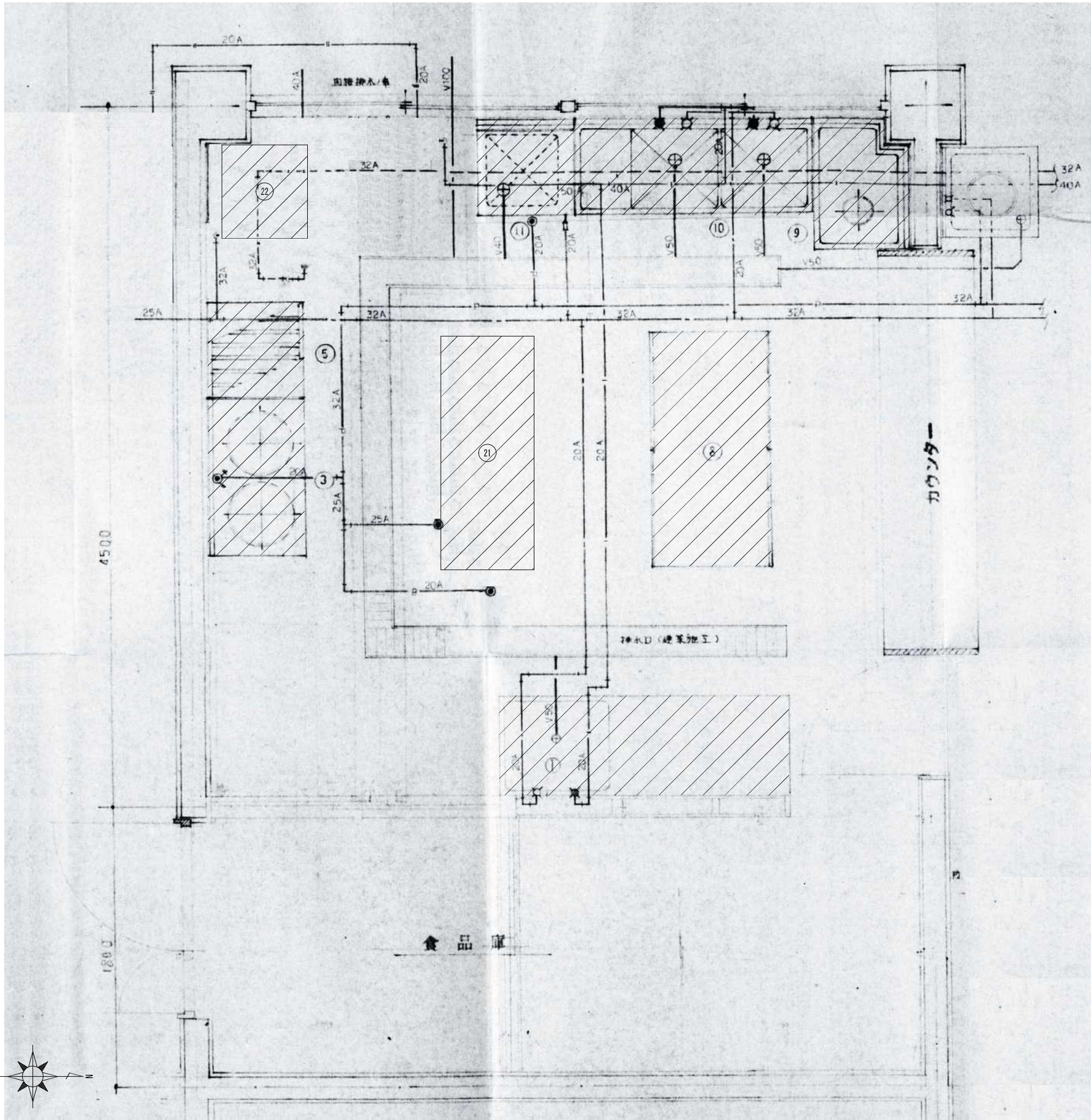
図面名： ⑥研修所棟
2F 給排水・衛生設備 平面詳細図

縮尺： 1/30
A2版：100%
A3版：70%

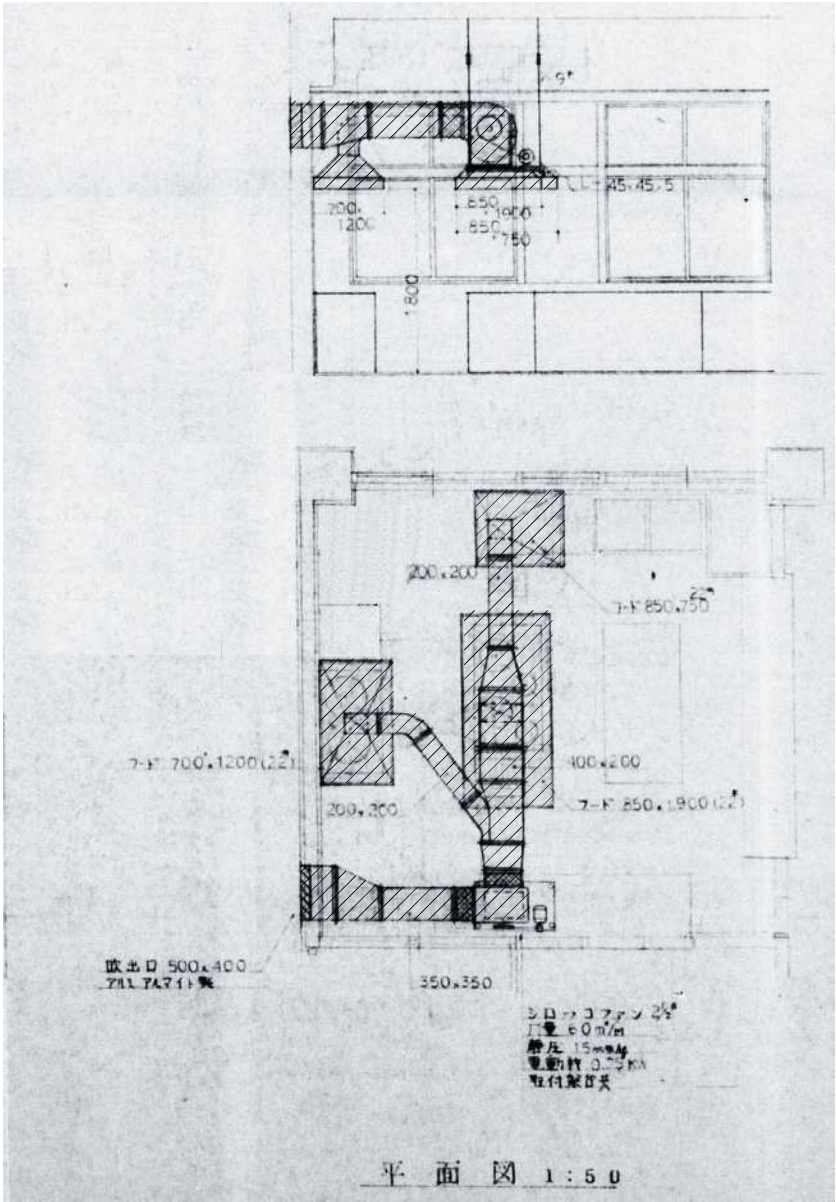
査図： 部長： 課長： 主任： 担当：

日付： R 6 年

図番： M - 12



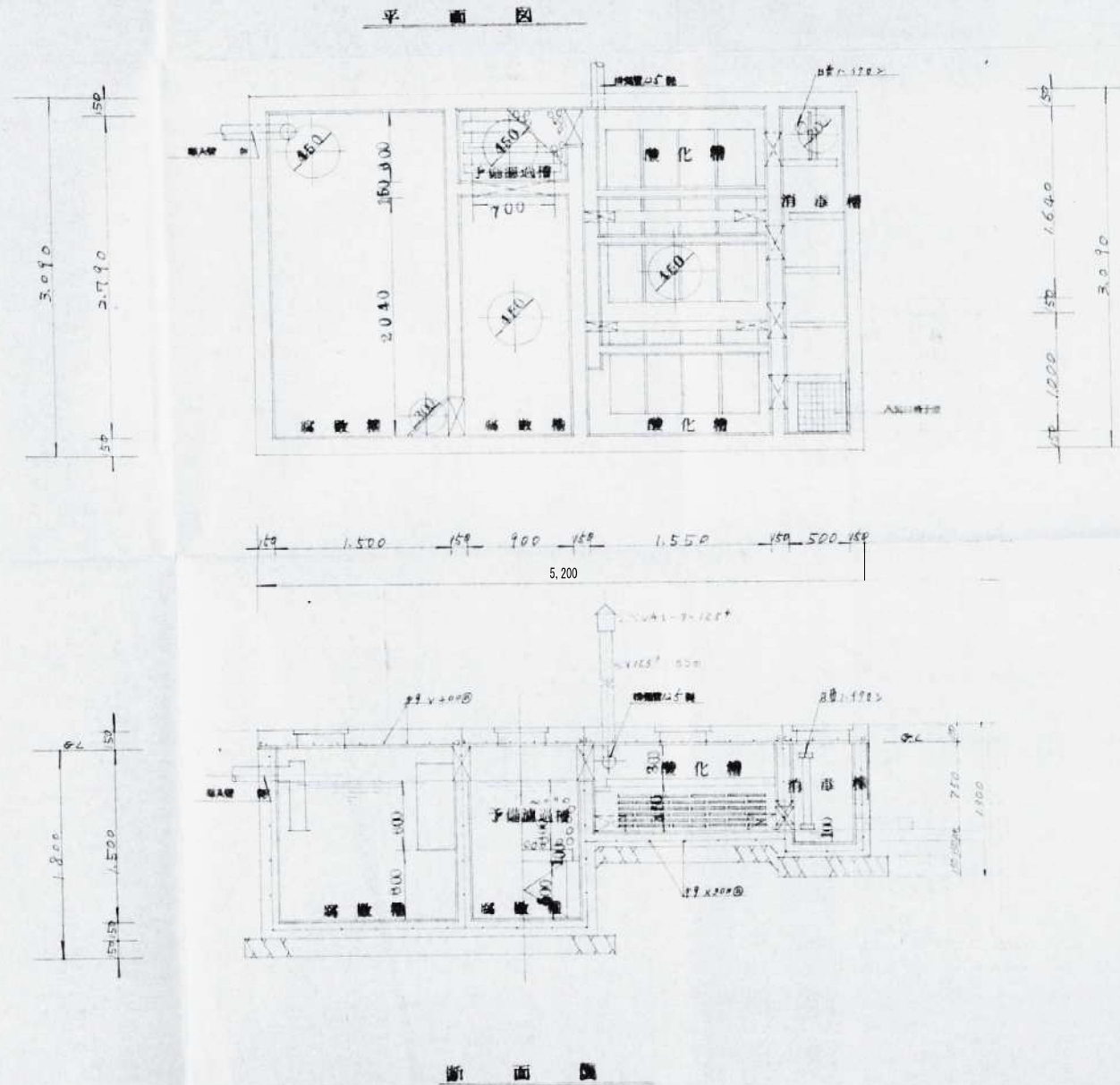
設備器具一覧表									
№	品名	規格	数量	備 考	冷 水	給 湯	排 水	ガ ス	電 気
1	シンク付調理台	1800×600×800	1		K-130AR	K-130AR	目 皿	DB-50	
2	電気冷蔵庫	MR-325PB	1	別 途					
3	食 器	1000×600×650	1						
4	排 気 扇	1 台	1	別 途					
5	パンラック	600×600×1800	1						
6	ガスレンジ	1200×650×800	1						
7	ガスコンロ	400×410×800	1						
8	食 器	1500×750×800	1	下部収納					
9	加 熱 台	850×600×800	1	既設台					
10	食 器	1500×600×800	1		K-130AR×2	K-130AR×2	目 皿	DB-50	
11	食器消毒乾燥機	600×600×800	1						
21	ガステーブル	1500×600×800	1						
22	食器消毒保管庫	600×550×1900	1						



1F 厨房設備平面図 S=1/20

ダクトフランジ部のパッキンがアスベスト含有建材であることを確認している。

T.N 式汚水浄化槽 7M³槽



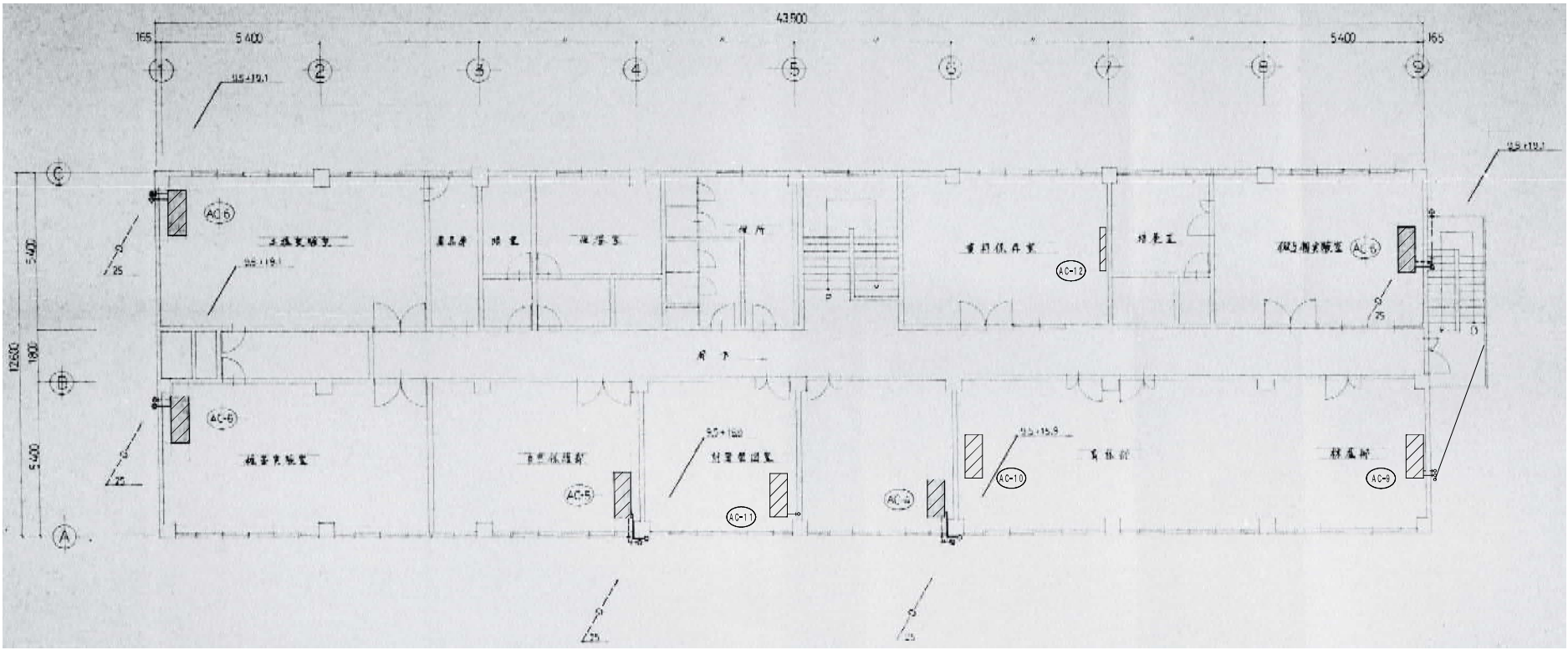
計算表						
区	分	長	巾	案子	月経	必要
材料	敷	2.220	1.500	1.200	5.220	
板	敷	2.040	900	1.200	2.220	
計					2.220	7.200
換	化	$\frac{1}{2} \times 2.220 = 1.110$				
用	活	1.110				

設計人員算定
 南側 } 60人
 北側 }
 $T^0 = 1.5 + (60 - 5) \times 0.1 = 7M^2$
 故に淨化槽 7M²槽 + 2L



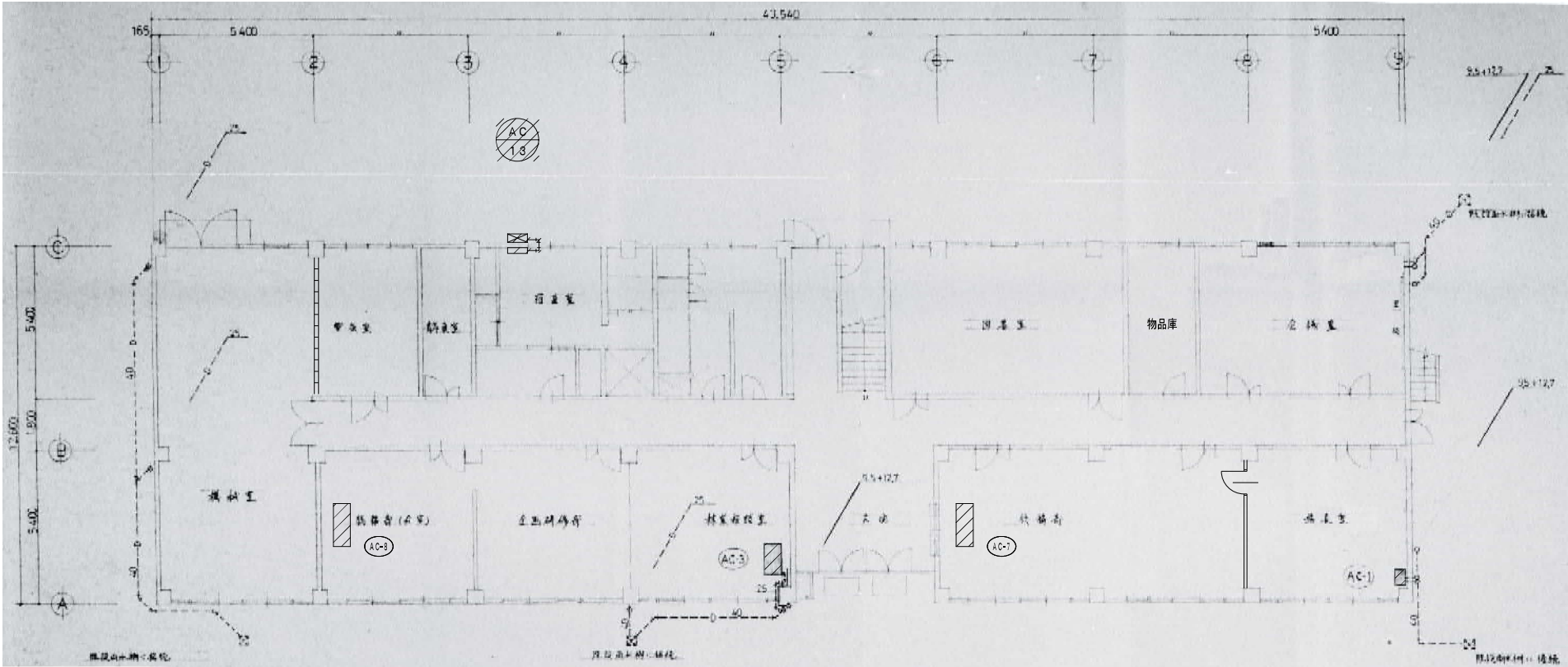
浄化槽 詳細図 S=1/40

※浄化槽の躯体は建築工事
※汲み取り・清掃・消毒は別途実施済



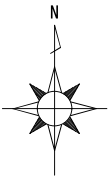
2 階平面図 S=1/150

撤去範囲：機器及び露出配管



1 階平面図 S=1/150

撤去範囲：機器及び露出配管



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名： 県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

図面名： ⑧本館
空調設備 各階平面図

縮尺： 1/150
A2版：100%
A3版：70%

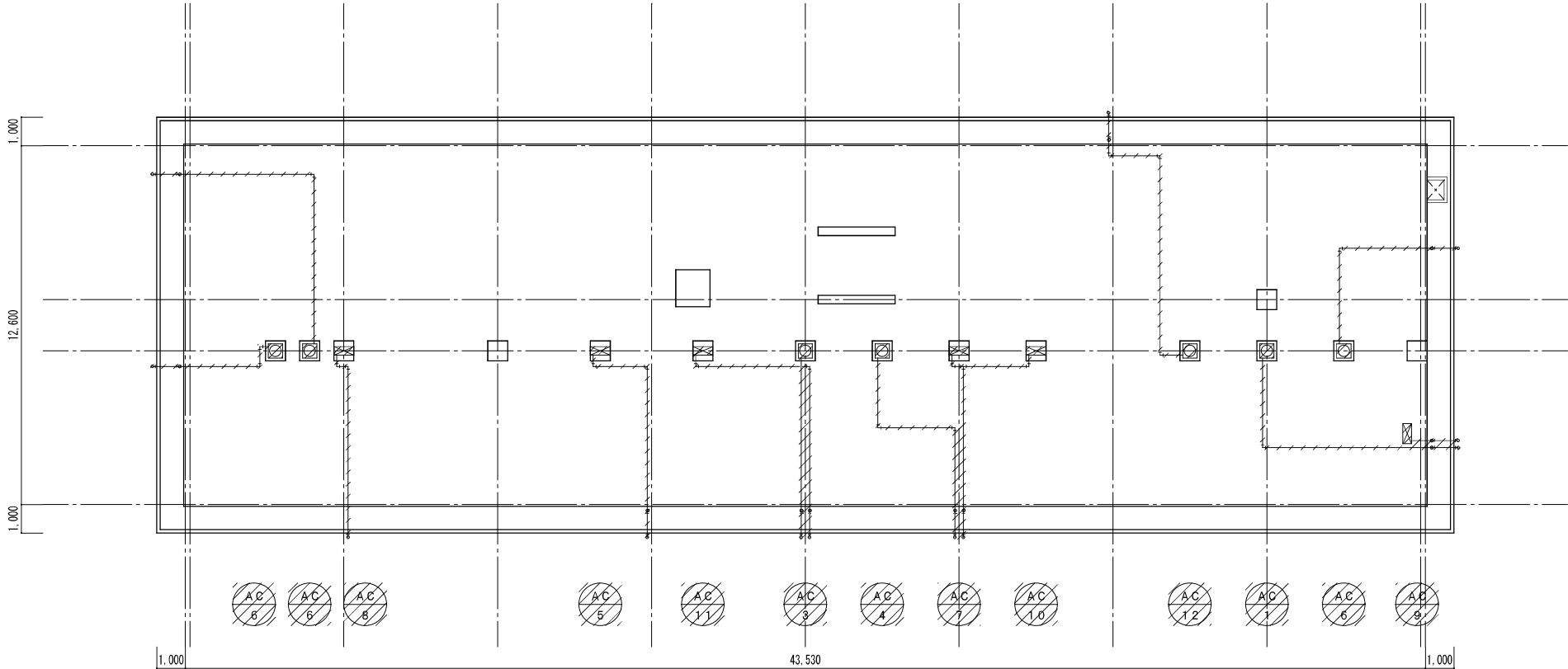
査図： 部長： 課長： 主任： 担当：

日付： R 6 年

図番： M - 15

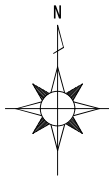
機器仕様（撤去）

記号	名 称	仕 様	数	記号	名 称	仕 様	数	記号	名 称	仕 様	数
AC-1	空冷ヒートポンプエアコン	床置形	1	AC-6	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	3	AC-10	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	1
		圧縮機 1.7kW／冷房能力 10.0kW（参考）			RAV-53C-S	圧縮機 3.75kW／冷房能力 8.1kW（参考）				圧縮機 2.2kW／冷房能力 8.0kW（参考）	
		冷媒：R22 2.9kg				冷媒：R22 2.9kg				冷媒：R407C 2.4kg	
AC-3	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	1	AC-7	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	1	AC-11	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	1
	RAV-33C-S	圧縮機 1.7kW／冷房能力 8.1kW（参考）			RYP112B	圧縮機 3.0kW／冷房能力 11.2kW			RYP112B	圧縮機 3.0kW／冷房能力 11.2kW	
		冷媒：R22 2.2kg				冷媒：R407C 3.6kg				冷媒：R407C 3.6kg	
AC-4	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	1	AC-8	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	1	AC-12	空冷ヒートポンプエアコン	壁掛形	1
	RAV-34C-S	圧縮機 1.7kW／冷房能力 8.1kW（参考）				圧縮機 2.2kW／冷房能力 8.0kW（参考）				圧縮機 1.7kW／冷房能力 10.0kW（参考）	
		冷媒：R22 2.4kg				冷媒：R407C 2.4kg				冷媒：R22 2.9kg	
AC-5	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	1	AC-9	空冷ヒートポンプエアコン	天井吊形	1	AC-13	ルームエアコン	壁掛形	1
	RYP80B	圧縮機 2.2kW／冷房能力 8.0kW			RYP112B	圧縮機 3.0kW／冷房能力 11.2kW				圧縮機 ロータリー式／冷房能力 3.6kW（参考）	
		冷媒：R407C 3.1kg				冷媒：R407C 3.6kg				冷媒：R22 0.63kg	



屋根伏図 S=1/150

撤去範囲：機器及び露出配管



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

図面名：

⑧本館
空調調和設備 屋根伏図

縮尺：

1/150

A2版：100%

A3版：70%

査図：

部長：

課長：

主任：

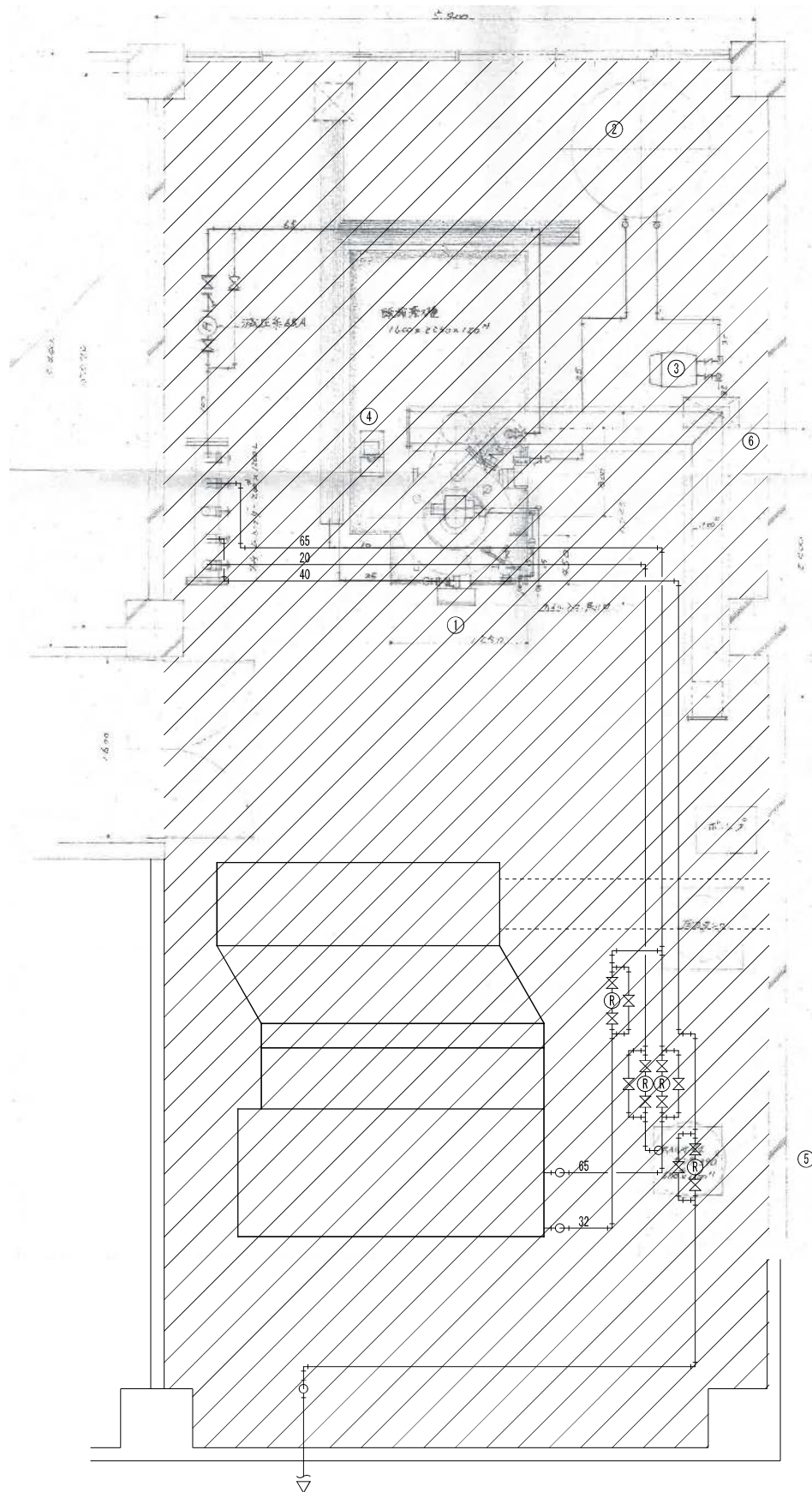
担当：

日付：

R 6 年

図番：

M - 16



機械室ボイラ設備機材明細

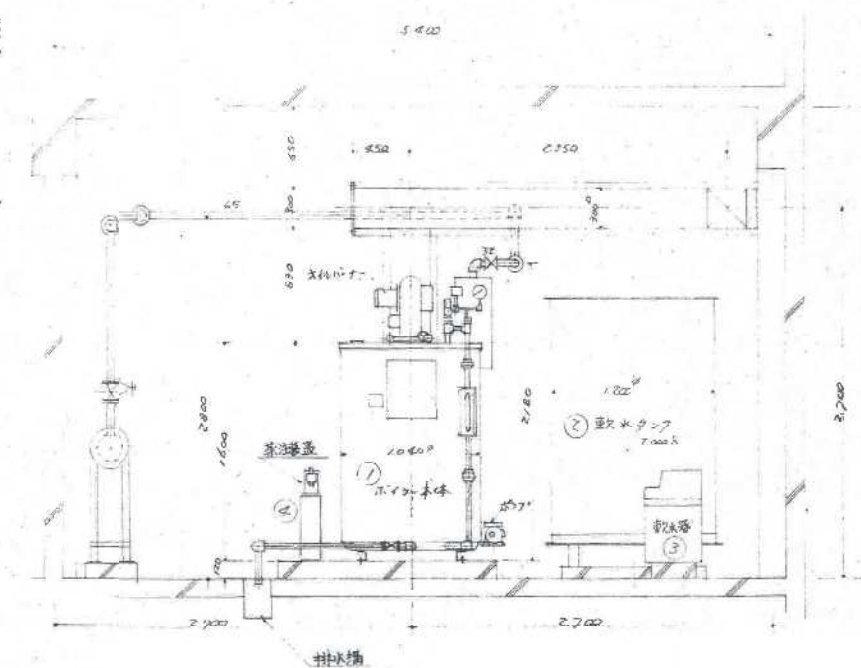
① 電気ボイラ SAC-60E	1 基 新設
② 軟水ポンプ 2.000ℓ 1200 ^φ × 1820 ^H	1 基 既設
③ 石炭水軟化器 parat 30E 樹脂量 10ℓ 流量 0.6m ³ /h	1 基 既設
④ 薬液装置 PD-11P 薬液タンク 25ℓ	1 基 新設
⑤ オイルサーモスタット 390ℓ 600 ^φ × 1100 ^H 型番 100 ^H 重量 800 ^H	1 基 既設
⑥ オイルサーボポンプ KR-6型 70 ^φ × 110 ^H / min × 30 ^{mm} × 0.5 ^{KW}	1 基 既設

ボイラ仕様

形式	SAC-60E
定相容量 ^{kg/h}	600
給出力 ^{kg/h}	323.400
最高使用圧力 ^{kg/cm²}	10
加熱面積 ^{m²}	9.8
燃料消費量 ^{kg/h}	42.7
灯油 ^{kg/h}	94.9
ボイラ制御方式	ON-OFF
重量 ^{kg}	980
電源 ^{3φ 200V × 50/60Hz}	
引込電力 ^{kw}	0.25
給水ポンプ ^{kw}	1.5
引込電力 ^{mm²}	20
排気筒外径 ^{mm}	2φ8

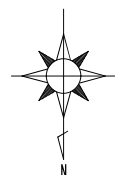
接続配管径

蒸気弁口径	32A
安全弁口径-数	40A-1
給水ポンプ口径	25A
上部ポンプ口径	12A
給水入口径	25A
燃料入口口径	15A
燃料戻り口径	15A



1 階平面詳細図 S=1/40

撤去範囲：機器及び露出配管



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元廣 匡伸

工事名： 県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

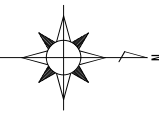
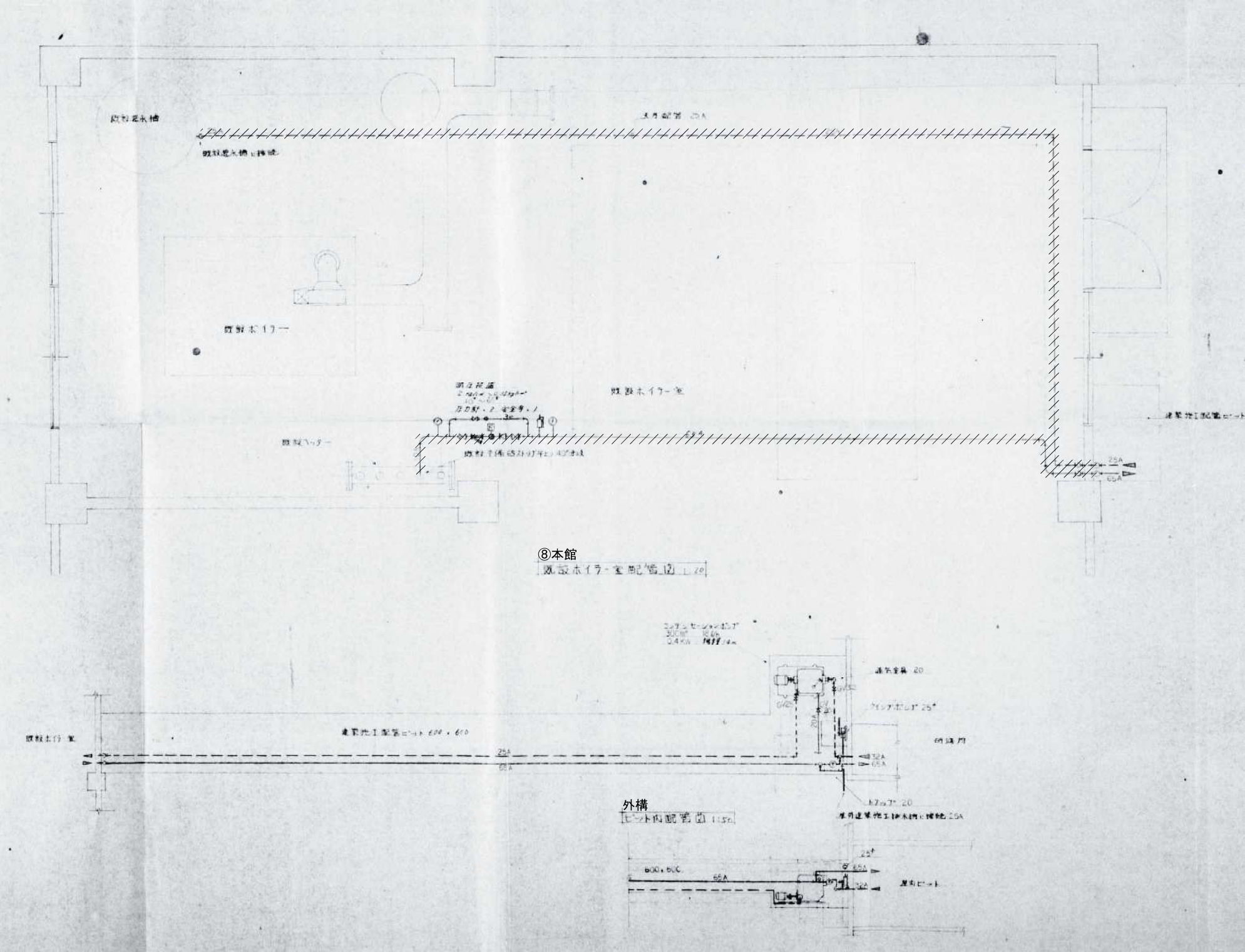
図面名： ⑧本館
空調調和設備 1 階平面詳細図

縮尺： 1/40
A2版：100%
A3版：70%

査図： 部長： 課長： 主任： 担当：


日付： R6年

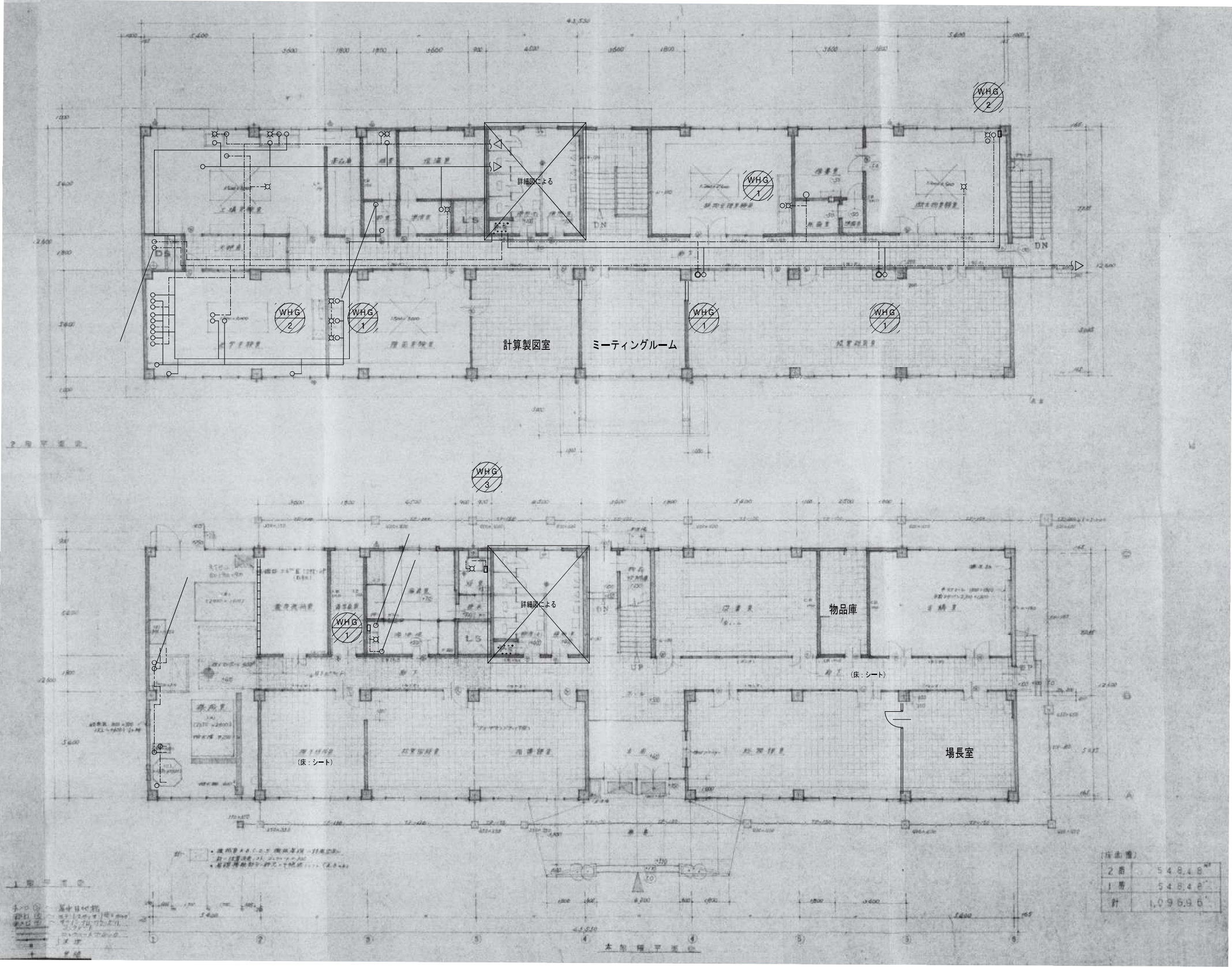
図番： M-17



既設ボイラー配管図 S=1/40

撤去範囲：機器及び露出配管

 <div>有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号</div>	<div>一級建築士登録 第 223245 号 元 廣 匡 伸</div>	<div>工事名： 県立総合技術研究所林業技術センター 解体撤去工事</div>	<div>図面名： ⑧本館 既設ボイラー配管図</div>	縮尺： 1/40 A2版：100% A3版：70%	<div>査 図： 部 長： 課 長： 主 任： 担 当：</div>	日付： R 6 年	図番： M - 18

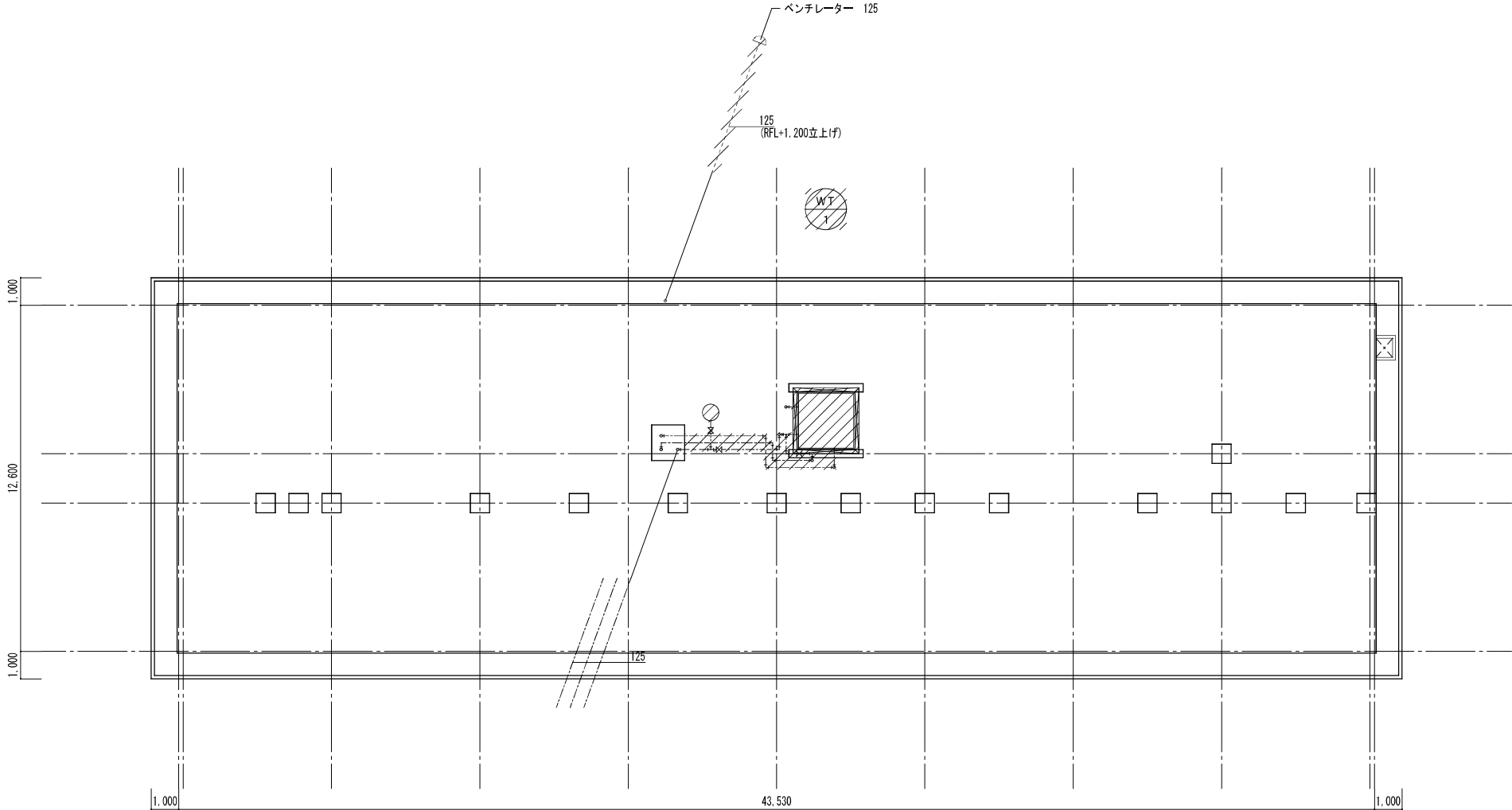


各階平面図 S=1/150

撤去範囲：機器及び露出配管共

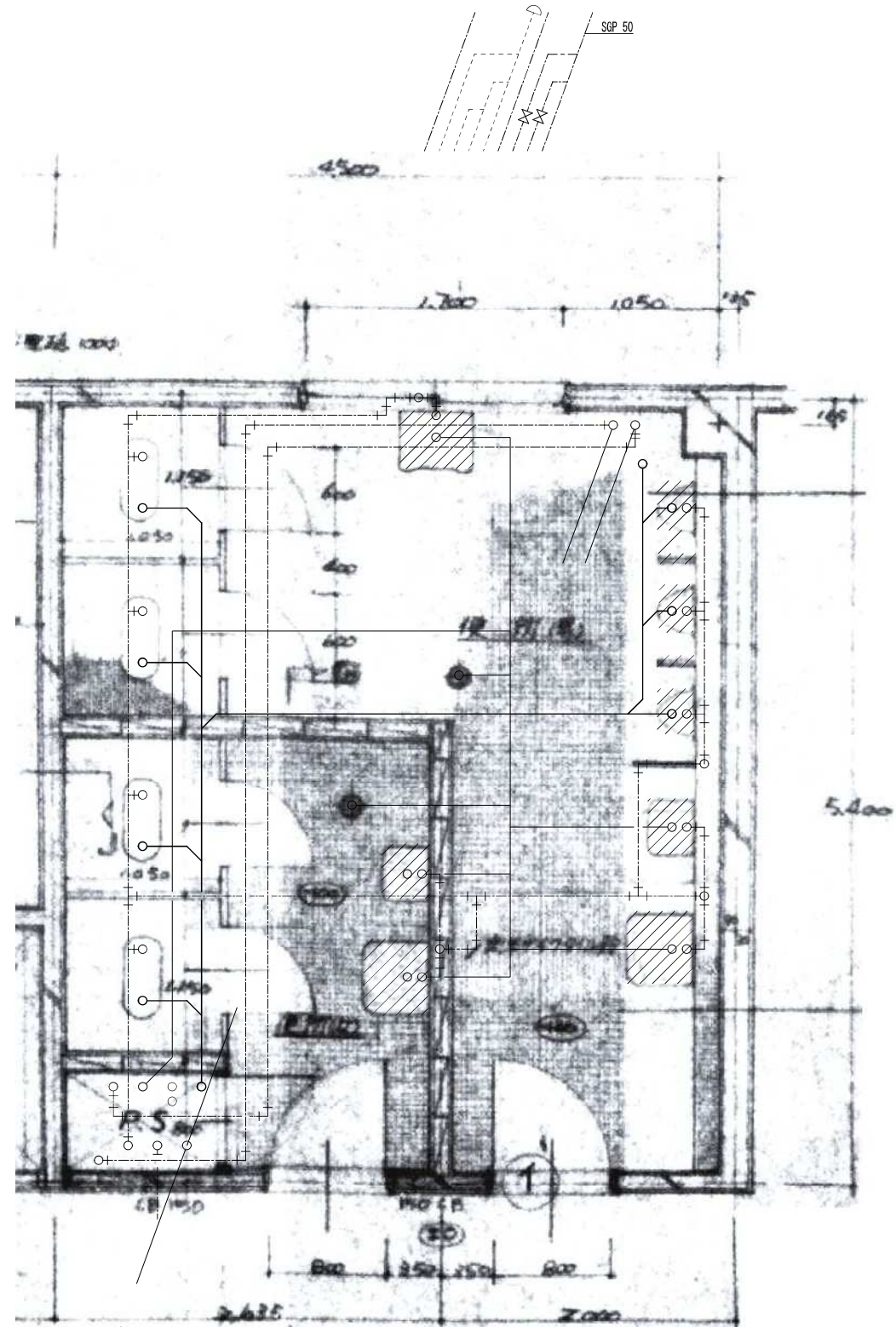
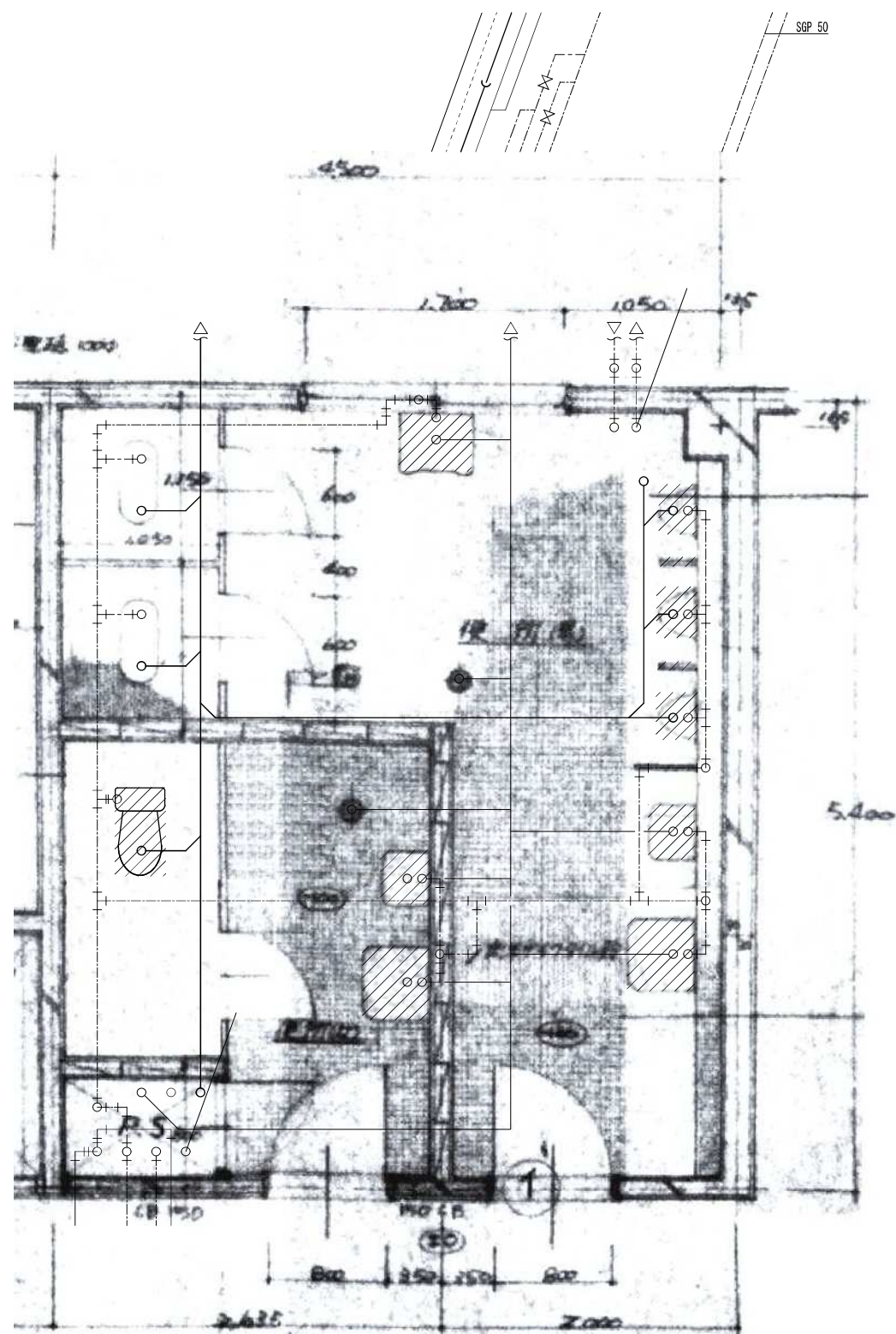
機器仕様（撤去）

記号	名 称	仕 様	数	記号	名 称	仕 様	数
WT-1	受水槽	FRP製(2,000×2,000×H2,000)	1	WHG-1	瞬間湯沸器	LPガス用 0.80kg/h	5
		銅製架台共		YR530J			
				WHG-2	瞬間湯沸器	LPガス用 0.80kg/h	2
				PH-5TB			
				WHG-3	瞬間湯沸器	LPガス用 0.80kg/h	1
				TR-A36M			



屋根伏図 S=1/150

撤去範囲：機器及び露出配管共



各階平面詳細図 S=1/30

撤去範囲：機器（大便器は除く）及び露出配管



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元廣 匡伸

工事名： 県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

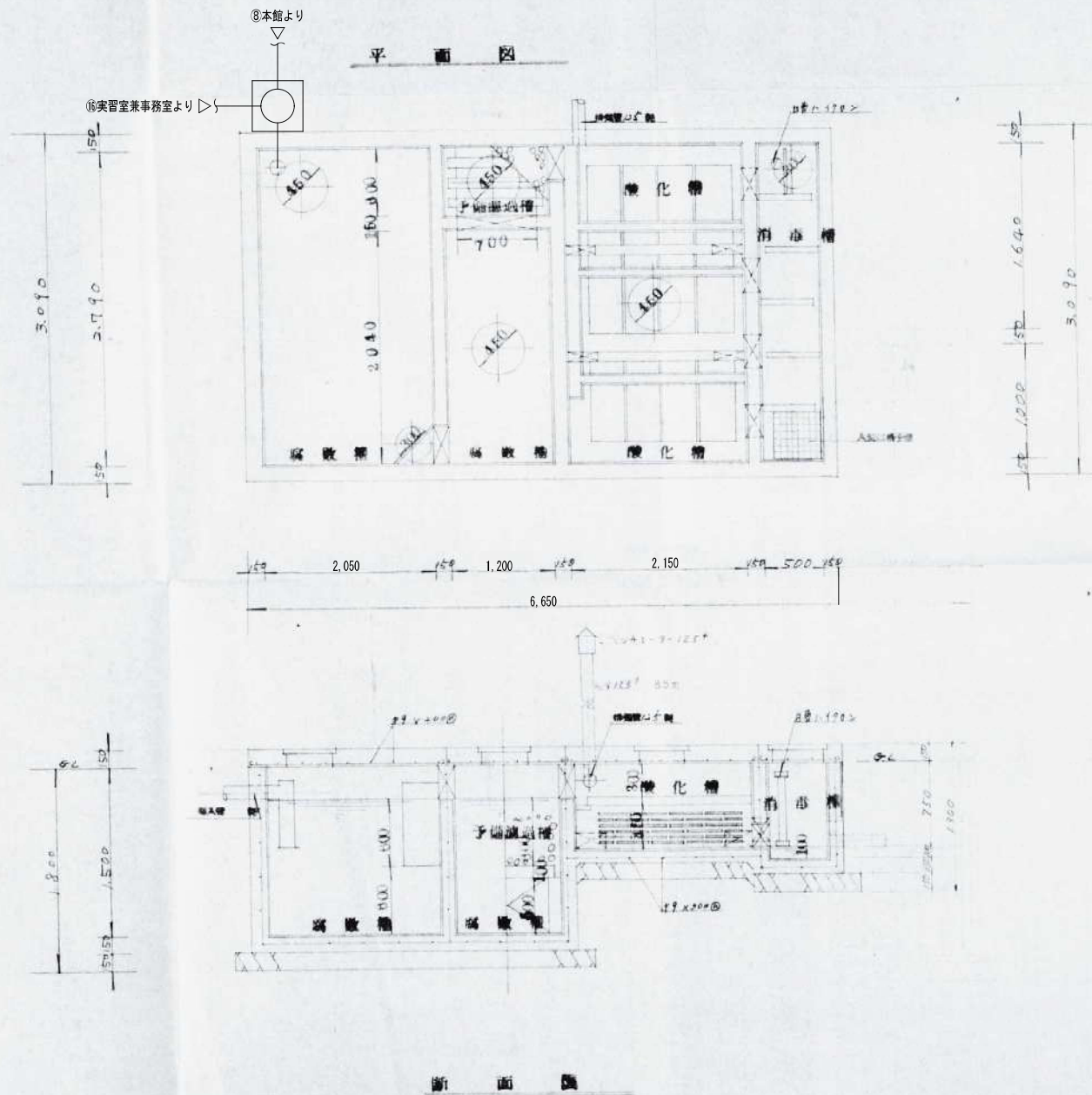
図面名： ⑧本館
給排水・ガス設備 各階平面詳細図

縮尺： 1/30
A2版：100%
A3版：70%

査図： 部長： 課長： 主任： 担当：

日付： R 6 年

図番： M - 21



計算表						
品名	単位	数量	単価	金額	税率	合計
材料	kg	2.70	1500	4050	5%	4252.5
労務	人	2.00	900	1800	5%	1890
計						6142.5
販売	箱	100	3000	300000	5%	315000
製造	箱	100	3000	300000	5%	315000

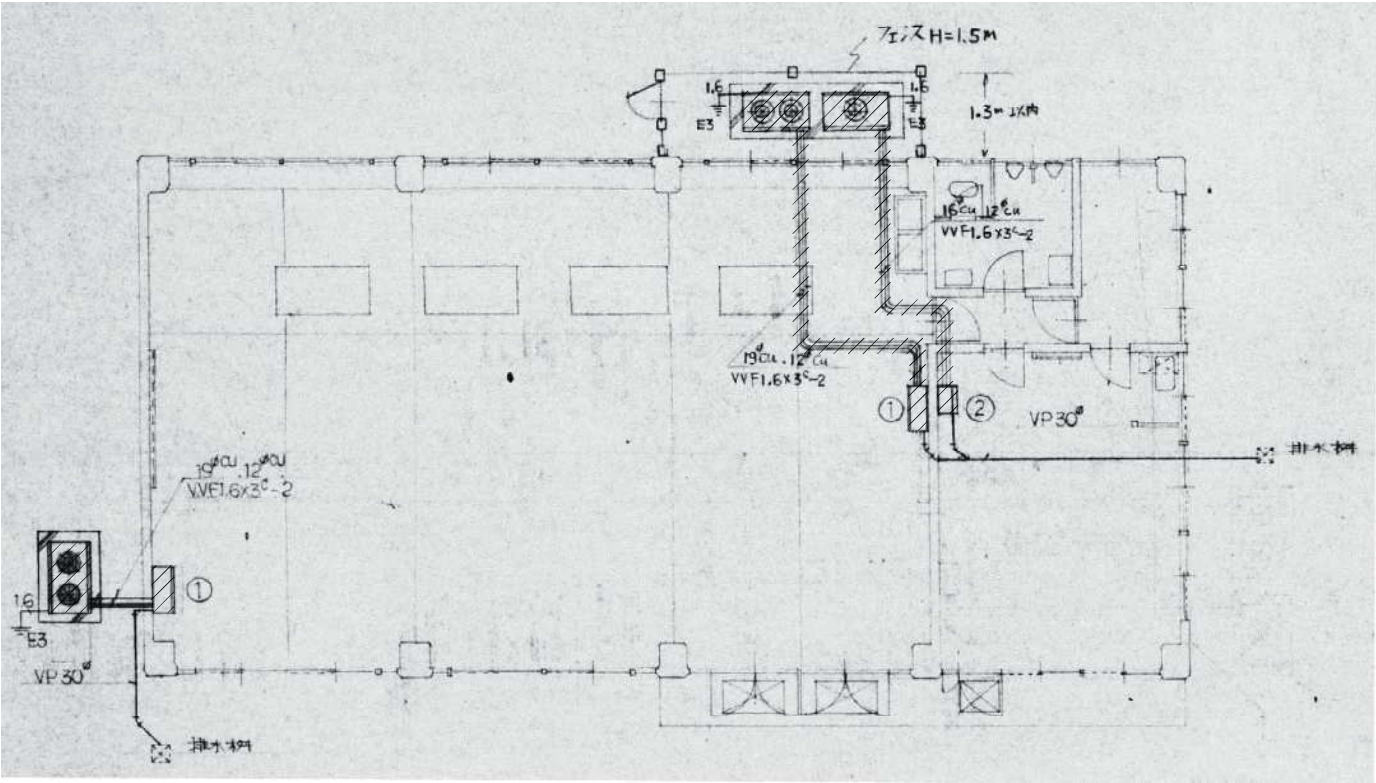
設計人員算定
酒粕
粗糲 60人
 $V^0 = 15 + (60 - 5) \times 0.1 = 7M^3$
故に淨糲槽 $7M^3$ 以上スル



浄化槽 詳細図 (参考) S=1/40

※浄化槽の躯体は建築工事
※汲み取り・清掃・消毒は別途実施済

3. 配管材料	管 名 称	種 別	記 号	備 考
01 配管材料の指定	給水管	ビニル樹脂管	SP-VB	9726
	圧力水管	高圧配管用鋼管	15-20-54	
	排水配水管	硬質塩化ビニル管	K-VT41	厚肉
	ガス管	鋼管	G3442	
	特殊ガス管	ガスレズ管	K02-K04	
02 暖房設備等	熱水圧力水管	厚肉鋼管 30(1)E 和同 12(4)E 厚肉鋼管は 30(1)E 地中ケーブル埋設用配管に適用		
	排水配水管	上記に準ずる。但し地中ケーブル埋設部は所轄と異なる。		
	見取図部分	記載する。特殊ガス管は種別と記号の両方について指定の指示による。		

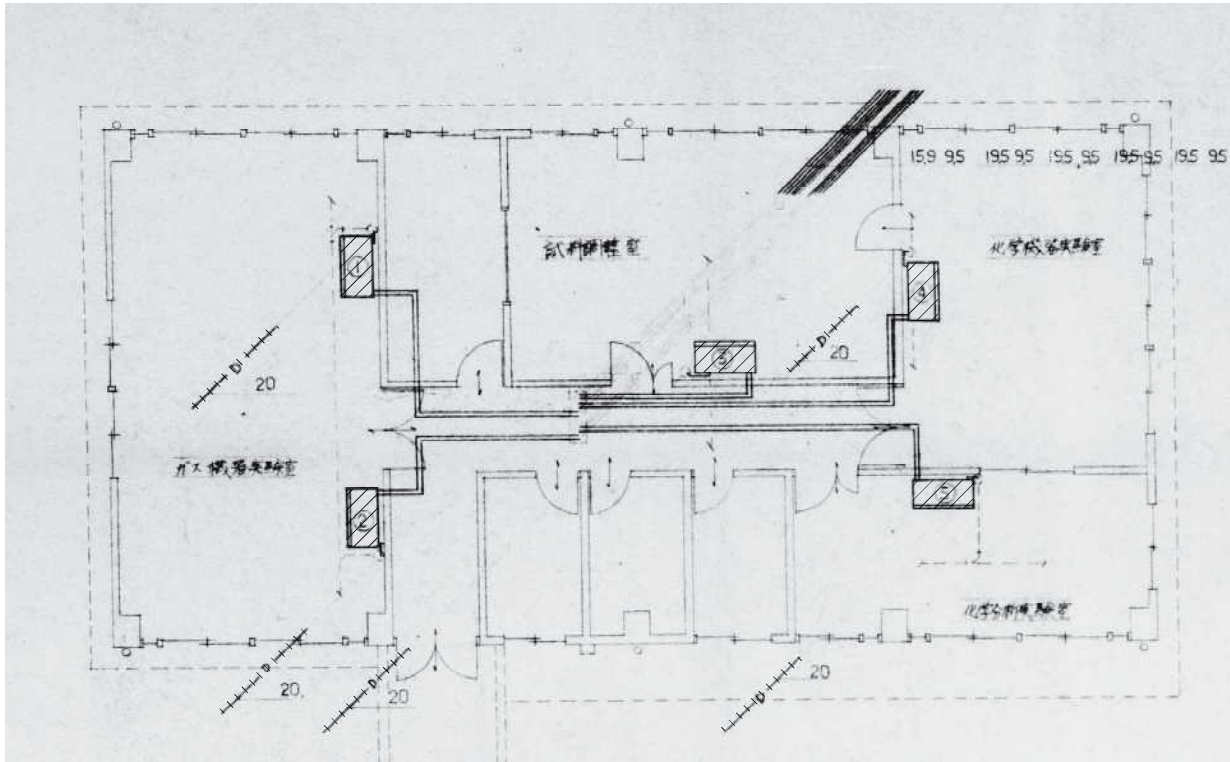


1F 空調設備平面図 S=1/100

撤去範囲：機器及び露出配管

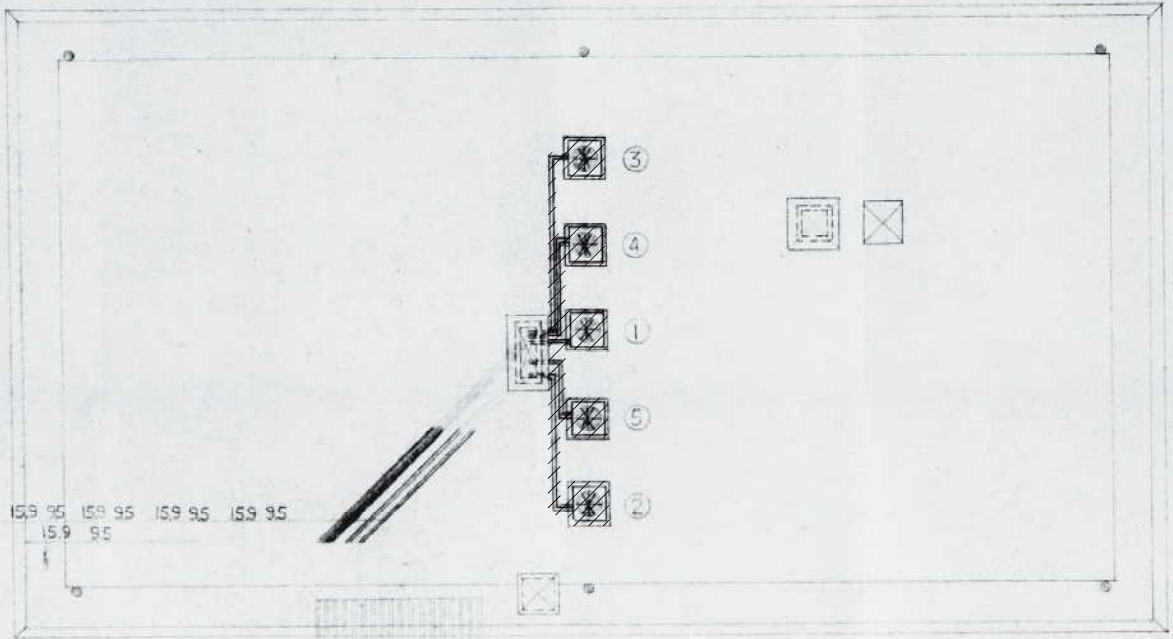
機 器 表					
番号	名 称	仕 様			台数
	空冷パッケージエアコン	床置形	冷房能力13000 ^{kcal/h}	暖房能力13000 ^{kcal/h} (18160 ^{kcal/h})	2
	冷房能力 14.4kW	室内ユニット	送風量2600 ^{m³/h}	圧縮機3.75 ^{kW} (3φ200V)	
①	冷媒：R22 3.9kg	オートコントロール付	送風機0.1 ^{kW} (3φ200V)		
		ユニット置台	補助ヒータ6.0 ^{kW} (3φ200V)		
		室外ユニット	送風機57 ^W ×2(3φ200V)		
	空冷パッケージエアコン	床置形	冷房能力7700 ^{kcal/h}	暖房能力7700 ^{kcal/h} (9850 ^{kcal/h})	1
	冷房能力 8.5kW	室内ユニット	送風量1820 ^{m³/h}	圧縮機2.2 ^{kW} (3φ200V)	
②	冷媒：R22 2.3kg	オートコントロール付	送風機40 ^W (-)		
		ユニット置台	補助ヒータ2.5 ^{kW} (-)		
		室外ユニット	送風機30 ^W (-)		

別働工事
・ 室内ユニットまでの一次側電源工事(電気設備工事)



2F 空調設備平面図 S=1/100

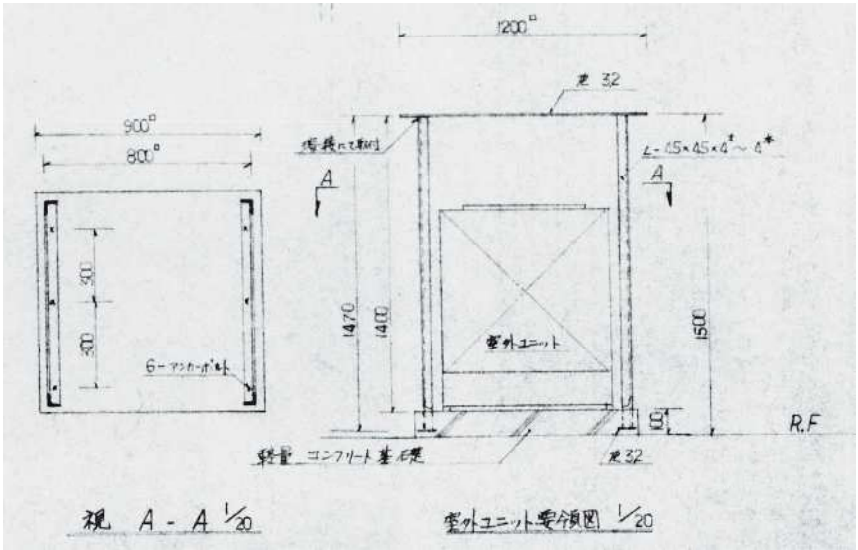
撤去範囲：機器及び露出配管



RF 空調設備平面図 S=1/100

撤去範囲：機器及び露出配管

機器表			
番号	名称	仕様	数量
①	空調機・ポンプ・ファン	天板内蔵 冷房能力 7300 W (9600 kcal/h) 電力消費 1520 W 室外ユニット 22 kW (22.2 kW) 圧縮機 22 kW (22.2 kW)	1
②	"	"	1
③	"	"	1
④	"	"	1
⑤	"	"	1
共通/冷房能力 8.1kW 冷媒：R22 2.2kg			
※ 一次側及び室内室外配管は電気配管工事。			



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名： 県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

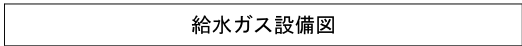
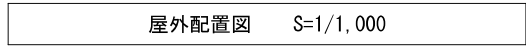
図面名： ⑩実習室兼事務室・分析実験室棟
2F・RF 空調設備平面図

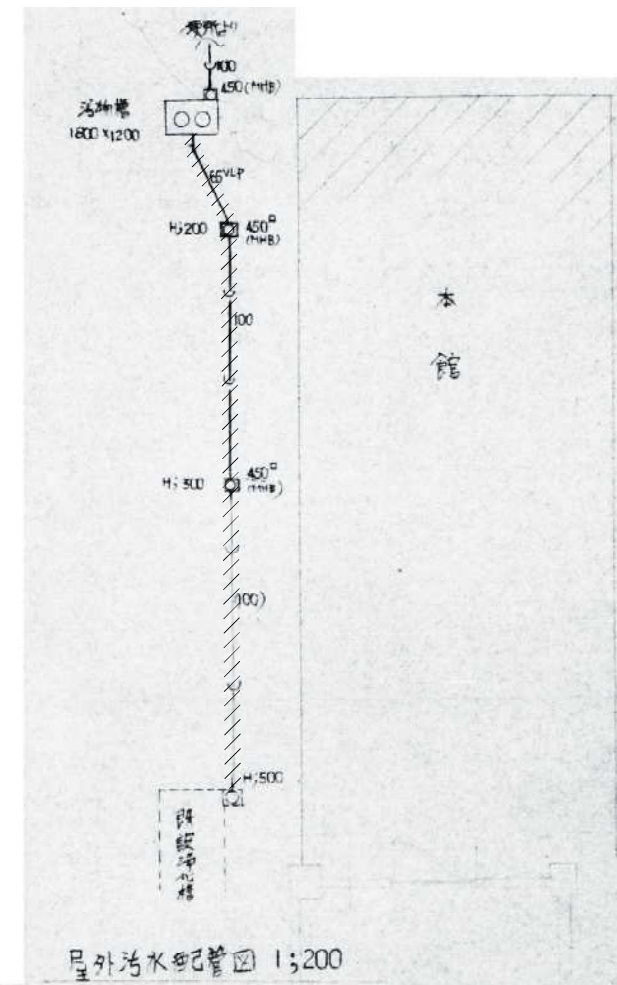
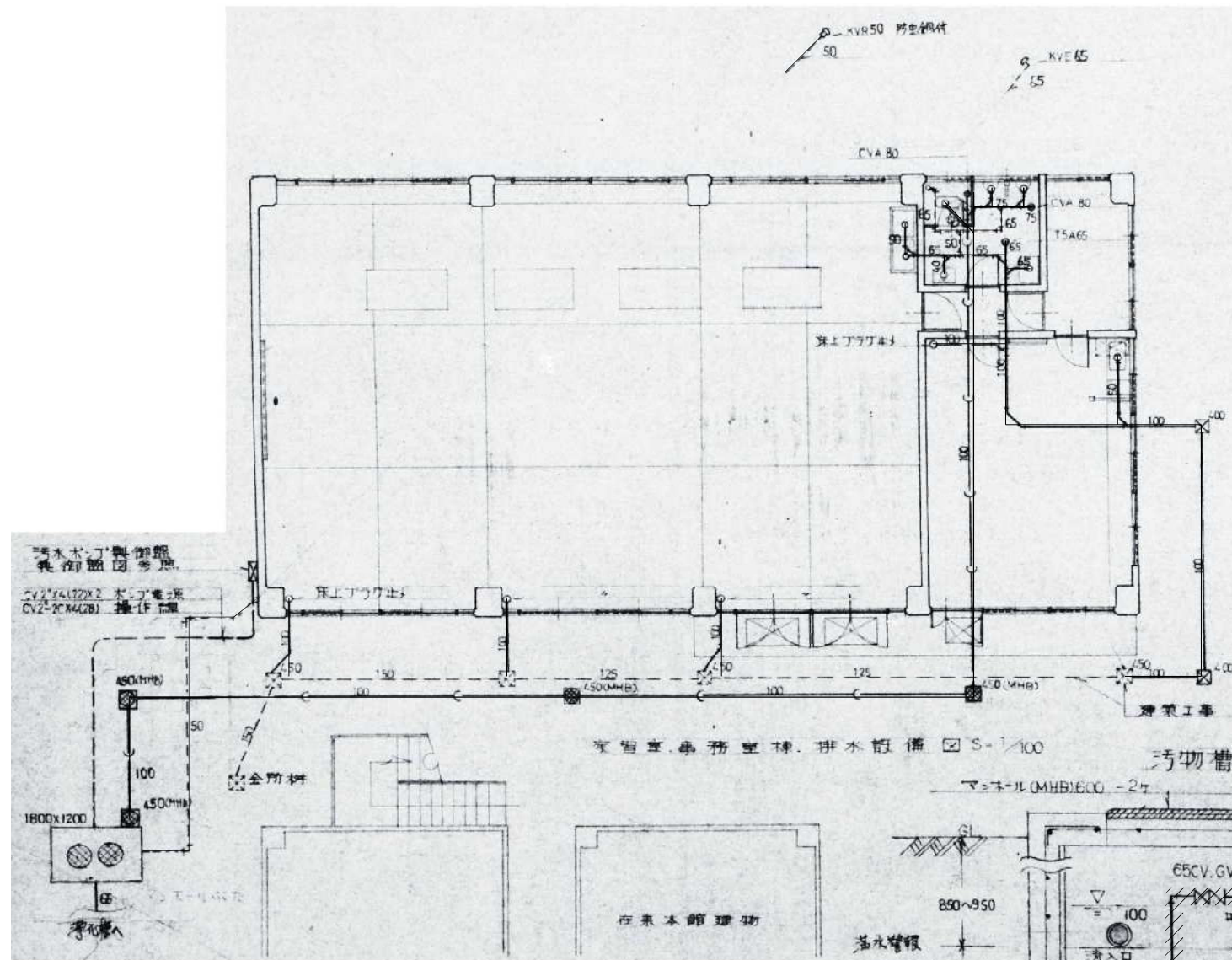
縮尺： 1/100
A2版：100%
A3版：70%

査図： 部長： 課長： 主任： 担当：

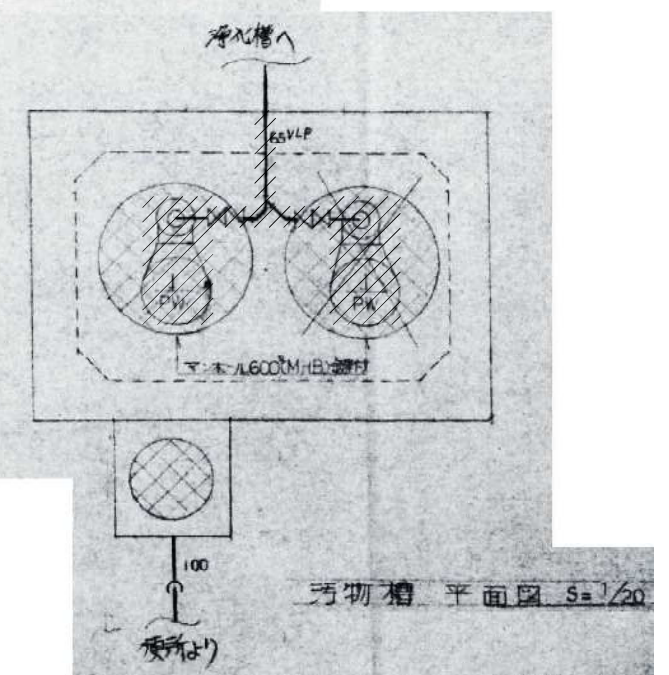
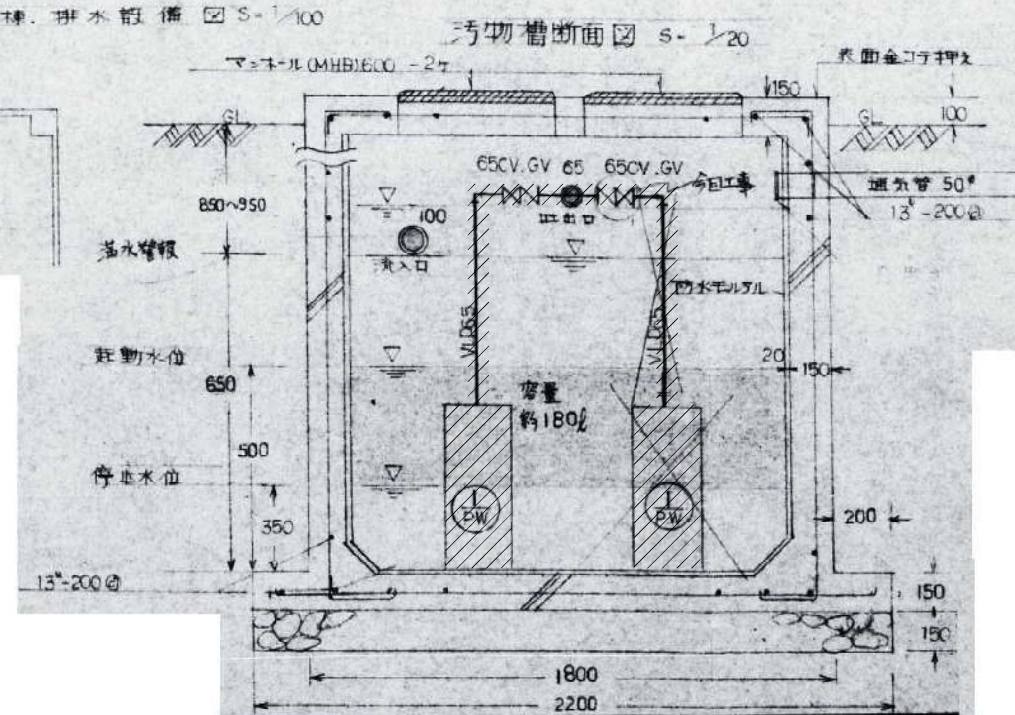
日付： R 6 年

図番： M - 24

撤去範囲：機器（大便器は除く）及び露出配管



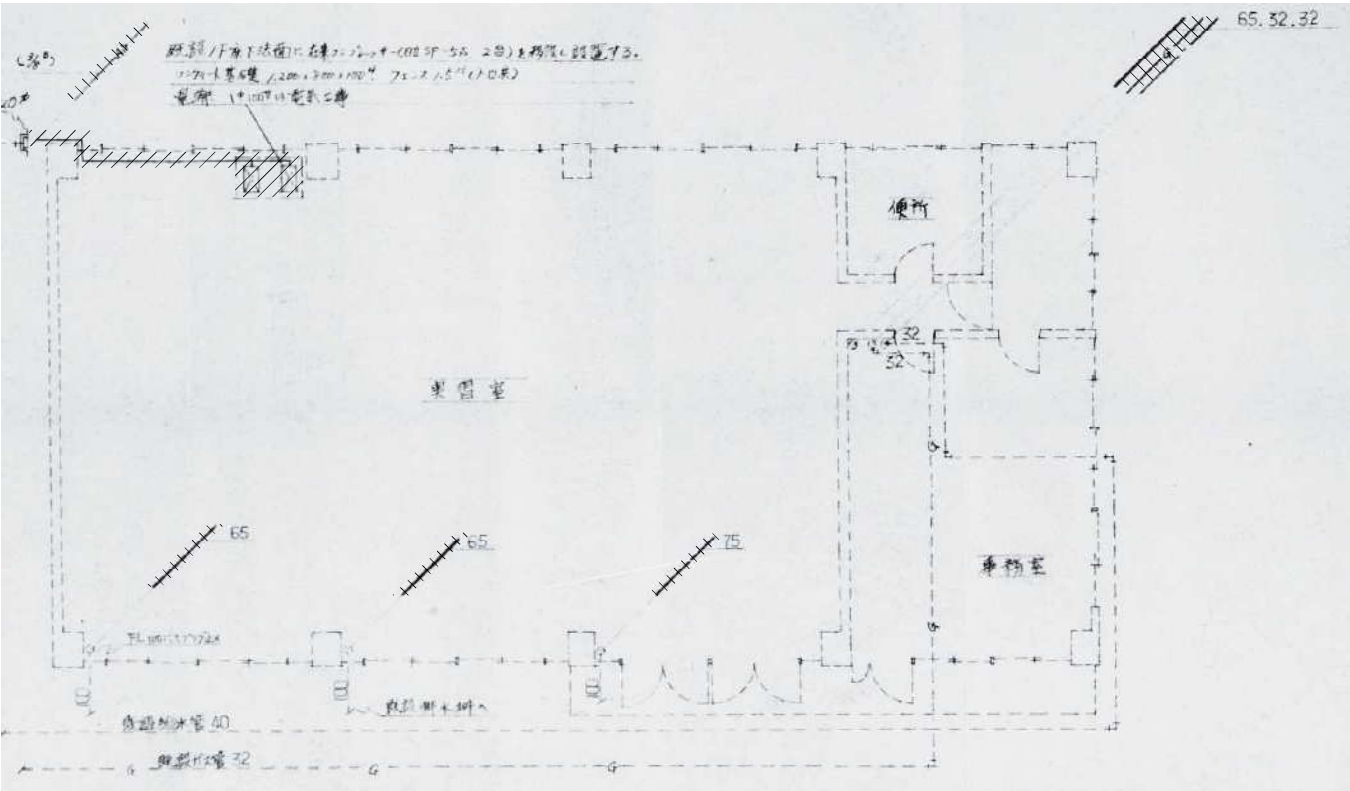
※ 汚水ポンプの制御盤は次回工事とする
但し CV, GV は今回工事とする。



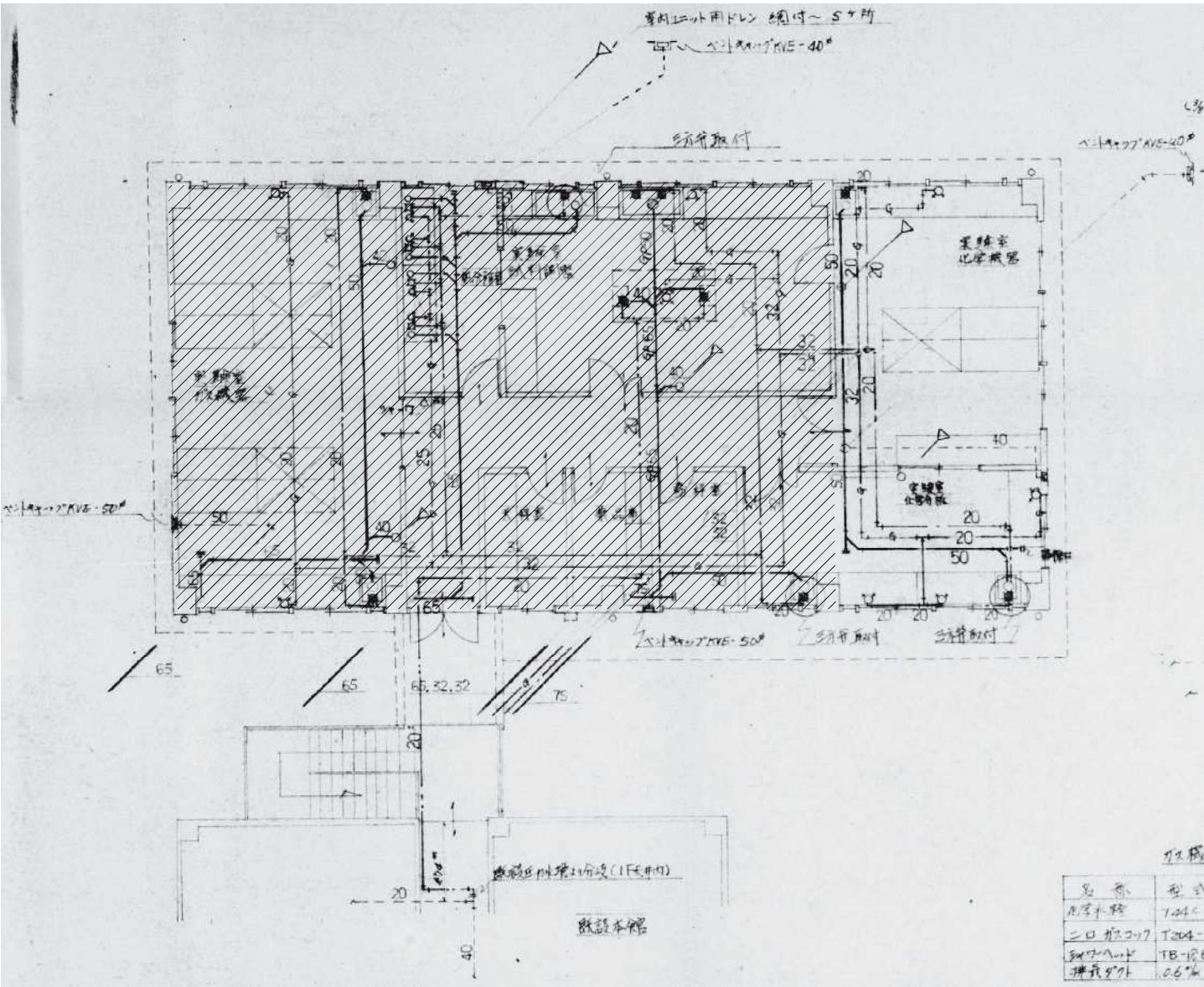
汚水ポンプ	
形 式	カッター付水中汚物ポンプ
仕 様	65AX150 ³ /min X 6 ¹ / ₂ X 0.75W
電 機	3φ200Vケーブル10M 標準付属品共
材 種	フロートスイッチ 2個
	制御盤 別図参照

排水設備図

※汚物槽の躯体は建築工事



1F 給排水設備平面図 S=1/100



2F 給排水設備平面図 S=1/100

1F 給排水設備				2F 給排水設備			
名称	型式	数量	備考	名称	型式	数量	備考
洗面水栓	T204C-10	2		洗面水栓	T204C-10	1	
二口排水口	T204C-10	2		二口排水口	T204C-10	1	
排水口	TB-100	1	排水口(排水)	排水口	TB-100	1	排水口(排水)
排水口	TB-100	2	排水口(排水)	排水口	TB-100	2	排水口(排水)
2F 給排水設備				2F 給排水設備			
名称	型式	数量	備考	名称	型式	数量	備考
洗面水栓	T204C-10	1		洗面水栓	T204C-10	2	
二口排水口	T204C-10	1		二口排水口	T204C-10	3	
排水口	TB-100	1		排水口	TB-100	2	
排水口	TB-100	2		排水口	TB-100	2	
2F 給排水設備				2F 給排水設備			
名称	型式	数量	備考	名称	型式	数量	備考
洗面水栓	T204C-10	2		洗面水栓	T204C-10	2	
二口排水口	T204C-10	2		二口排水口	T204C-10	2	
排水口	TB-100	2		排水口	TB-100	2	



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名: 県立総合技術研究所林業技術センター
解体撤去工事

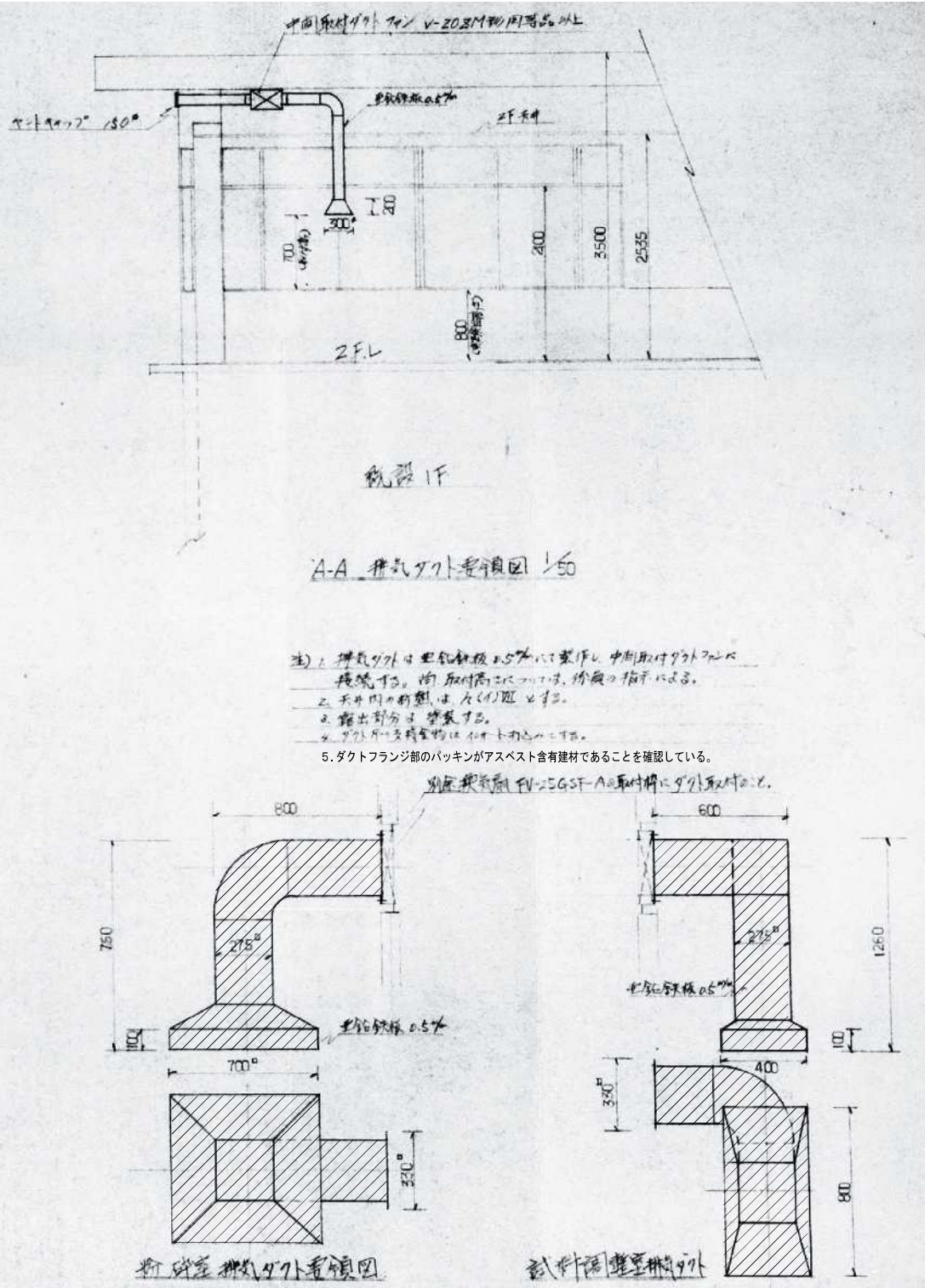
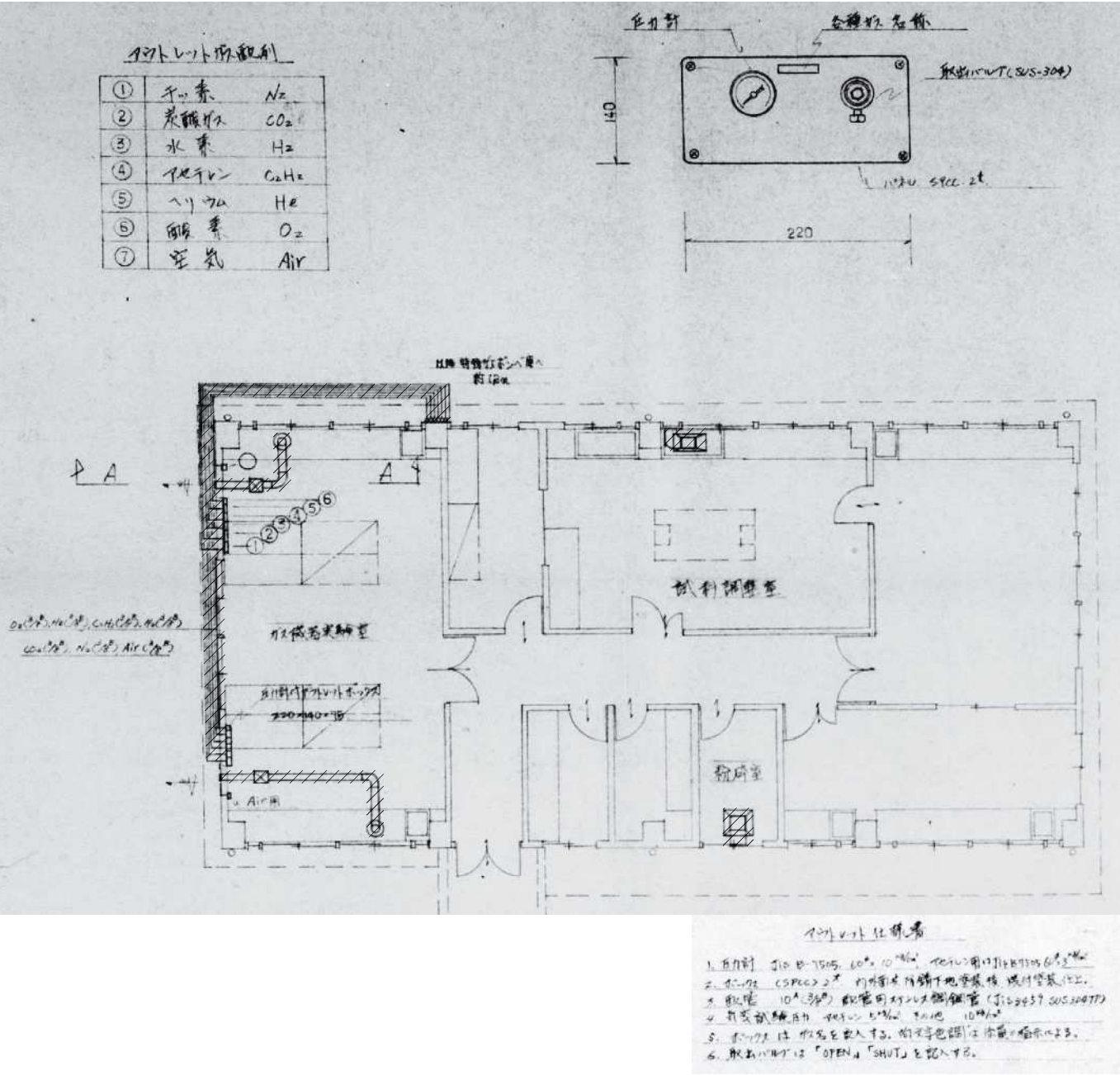
図面名: ⑩実習室兼事務室・分析実験室棟
1F・2F 給排水設備平面図

縮尺: 1/100
A2版: 100%
A3版: 70%

査図: 部長: 課長: 主任: 担当:

日付: R 6 年

図番: M - 27



特殊ガスアウトレット取付図 S=1/100

排気ダクト要領図 S=1/50



